

令和2年度

厚生年金保険・国民年金事業の概況

令和3年12月

厚生労働省年金局

令和2年度厚生年金保険・国民年金事業の概況

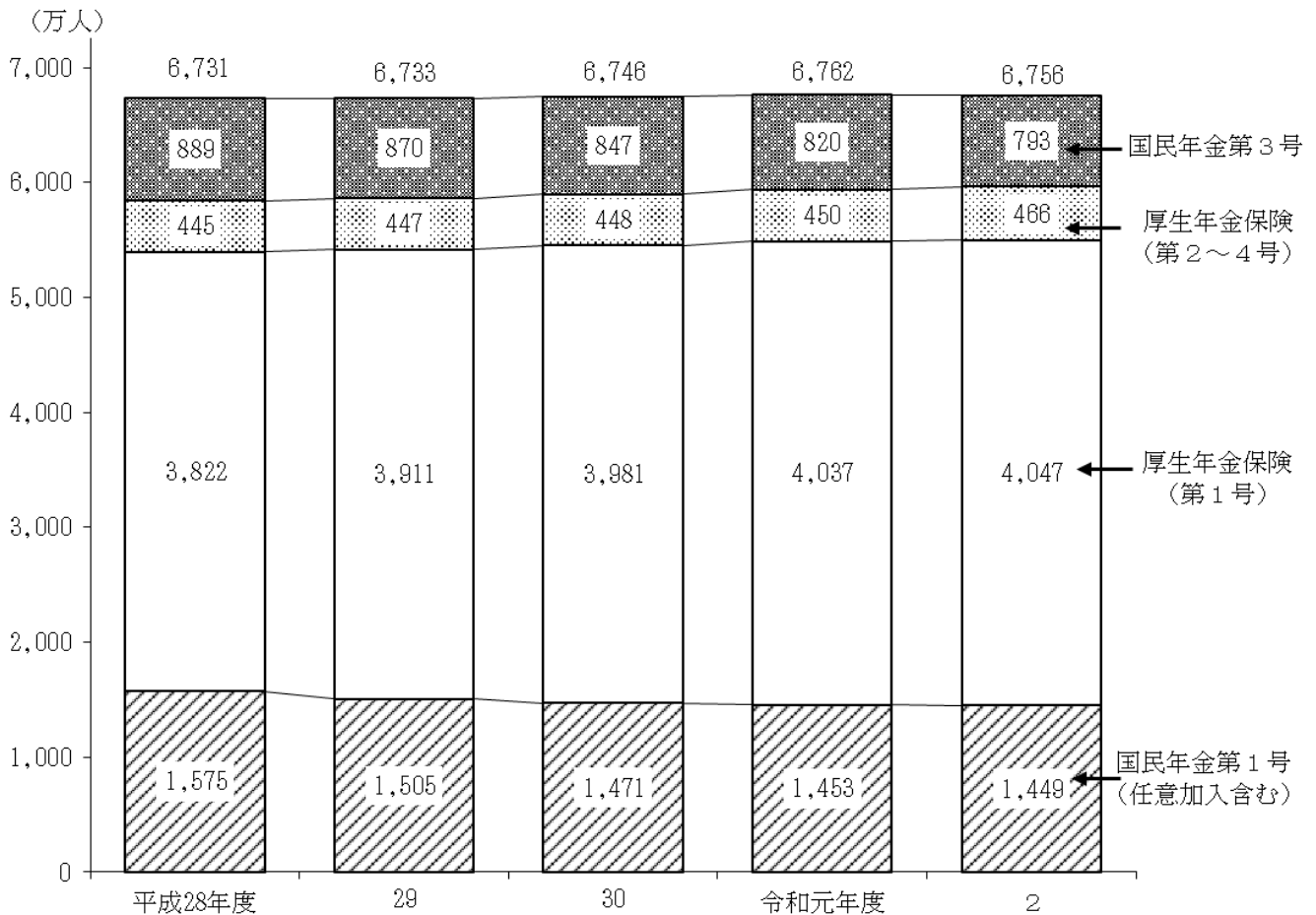
I. 公的年金制度の概況

(1) 適用状況

- 公的年金被保険者数は、令和2年度末現在で6,756万人となっており、前年度末に比べて6万人（0.1%）減少している。
- 国民年金の第1号被保険者数（任意加入被保険者を含む）は、令和2年度末現在で1,449万人となっており、前年度末に比べて4万人（0.3%）減少している。
- 厚生年金被保険者数（第1～4号）は、令和2年度末現在で4,513万人（うち第1号4,047万人、第2～4号466万人）となっており、前年度末に比べて25万人（0.6%）増加している。
- 国民年金の第3号被保険者数は、令和2年度末現在で793万人となっており、前年度末に比べて27万人（3.3%）減少している。

注. 厚生年金被保険者には、国民年金第2号被保険者のほか、65歳以上で老齢又は退職を支給事由とする年金給付の受給権を有する被保険者が含まれている。

図1 公的年金被保険者数の推移（年度末現在）



- 公的年金被保険者数を男女別にみると、男子は3,524万人となっており、前年度末に比べて3万人（0.1%）減少している。また、女子は3,231万人となっており、前年度末に比べて2万人（0.1%）減少している。

表1 男女別公的年金被保険者数

（令和2年度末現在、単位：万人）

| | 総数 | 国民年金 第1号 被保険者 | 厚生年金被保険者 (国民年金第2号被保険者等) | | 国民年金 第3号 被保険者 | |
|----|-------|---------------------|----------------------------|-------------------|---------------------|-----|
| | | | 厚生年金保険 (第1号) | 厚生年金保険 (第2～4号) | | |
| 総数 | 6,756 | 1,449 | 4,513 | 4,047 | 466 | 793 |
| 男子 | 3,524 | 758 | 2,755 | 2,479 | 276 | 12 |
| 女子 | 3,231 | 691 | 1,759 | 1,569 | 190 | 781 |

注1．国民年金第1号被保険者には、任意加入被保険者を含む。

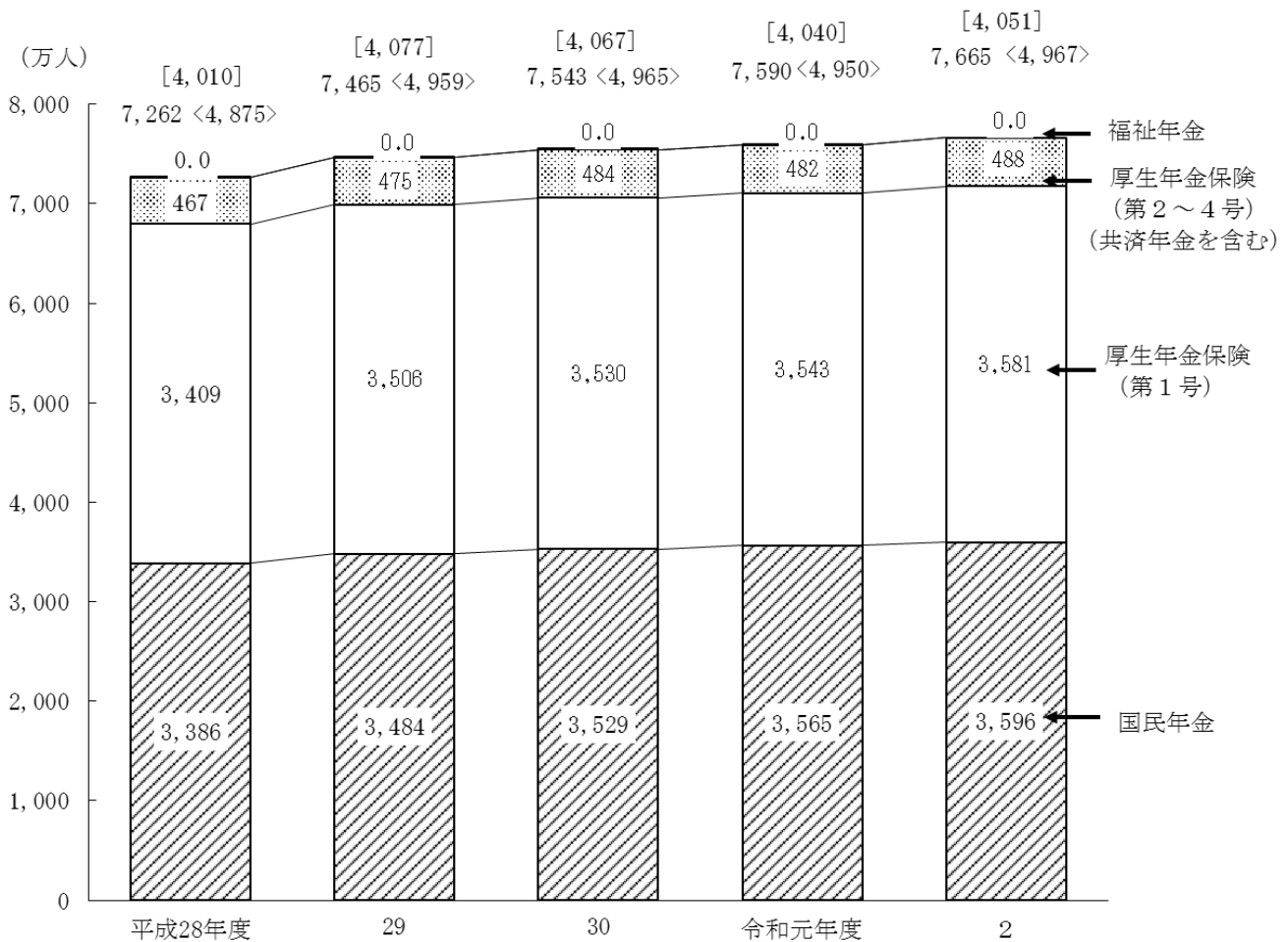
2．厚生年金被保険者には、国民年金第2号被保険者のほか、65歳以上で老齢又は退職を支給事由とする年金給付の受給権を有する被保険者が含まれている。

(2) 給付状況

- 公的年金受給者数（延人数）は、令和2年度末現在で7,665万人となっており、前年度末に比べて76万人（1.0%）増加している。
- 重複のない公的年金の実受給権者数は、令和2年度末現在で4,051万人であり、前年度末に比べて10万人（0.3%）増加している。

注. 受給者数とは、受給権者数から全額支給停止者数を除いたものである。

図2 公的年金受給者数の推移（年度末現在）



注1. < >内は厚生年金保険（第1号）と基礎年金（同一の年金種別）を併給している者の重複分を控除した場合の受給者数である。

2. []内は重複のない実受給権者数である。

3. 厚生年金保険（第1号）の受給者は、厚生年金保険受給者全体から、共済組合等の組合員等たる厚生年金保険の被保険者期間（平成27年9月以前の共済組合等の組合員等の期間を含む）のみの者を除き、さらに、障害厚生年金受給者及び短期要件分の遺族厚生年金受給者について、それぞれ初診日又は死亡日に共済組合等の組合員等であった者を除いた者を計上している。

4. 厚生年金保険（第2～4号）の受給者は、国家公務員共済組合、地方公務員共済組合及び日本私立学校振興・共済事業団から支給される、厚生年金又は共済年金の受給者を計上している。

- 公的年金受給者の年金総額は、令和2年度末現在で56兆円となっており、前年度末に比べて3千8百億円（0.7%）増加している。

表2 公的年金受給者の年金総額の推移

（年度末現在、単位：億円）

| | 総数 | 国民年金 | 厚生年金保険 (共済年金を含む) | | 福祉年金 | |
|--------|---------|---------|---------------------|--------------------------------|--------|---|
| | | | 厚生年金保険 (第1号) | 厚生年金保険 (第2～4号) (共済年金を含む) | | |
| 平成28年度 | 548,355 | 227,156 | 321,198 | 257,008 | 64,190 | 1 |
| 29 | 554,108 | 232,642 | 321,465 | 258,091 | 63,374 | 0 |
| 30 | 555,904 | 236,380 | 319,524 | 256,643 | 62,881 | 0 |
| 令和元年度 | 556,262 | 239,742 | 316,519 | 254,965 | 61,554 | 0 |
| 2 | 560,078 | 243,212 | 316,866 | 255,715 | 61,151 | 0 |

- 注1．受給者の年金総額とは、年度末現在の受給者について、その時点で決定済の年金額（年額）を合計したものである。また、年金額には一部支給停止されている金額を含む。
- 2．厚生年金保険（第1号）受給者の年金総額は、厚生年金保険（第1号）受給者の年金総額を計上しており、老齢給付及び遺族年金（長期要件）については、平成27年9月以前の厚生年金保険被保険者期間及び平成27年10月以降の第1号厚生年金被保険者期間に係る年金総額を、平成27年10月以降に受給権が発生した障害厚生年金及び遺族厚生年金（短期要件）については、共済組合等の組合員等たる厚生年金保険の被保険者期間（平成27年9月以前の共済組合等の組合員等の期間を含む）を含めて算出した年金総額を計上している。
- 3．厚生年金保険（第2～4号）の受給者の年金総額は、国家公務員共済組合、地方公務員共済組合及び日本私立学校振興・共済事業団から支給される、厚生年金又は共済年金の年金総額を計上している。
- 4．厚生年金保険（第2～4号）の数値には、共済年金の職域加算部分を含む。

II. 厚生年金保険

この統計では基本的に、被用者年金一元化により新たに厚生年金保険の適用対象となった、国家公務員共済組合、地方公務員共済組合及び日本私立学校振興・共済事業団の情報を含まない。

(1) 適用状況

- 令和2年度末現在の適用事業所数は、250万9千か所であり、前年度末に比べて7.4万か所(3.0%)増加している。
- 被保険者数は、令和2年度末現在で4,047万人となっており、前年度末に比べて10万人(0.2%)増加している。男女別にみると、男子は2,479万人(対前年度末比9万人、0.4%減)、女子は1,569万人(対前年度末比19万人、1.2%増)となっている。
- 短時間労働者数は、令和2年度末現在で53万人となっており、前年度末に比べて6万人(12.3%)増加している。男女別にみると、男子は14万人(対前年度末比1万人、6.6%増)、女子は39万人(対前年度末比5万人、14.4%増)となっている。
- 育児休業等期間中(産前産後休業期間を含む)の保険料免除者数は、令和2年度末現在で45万人であり、前年度末に比べて2万人(5.0%)増加している。男女別にみると、男子は1万人(対前年度末比3千人、35.2%増)、女子は44万人(対前年度末比2万人、4.5%増)となっている。

表3 厚生年金保険(第1号) 適用状況の推移

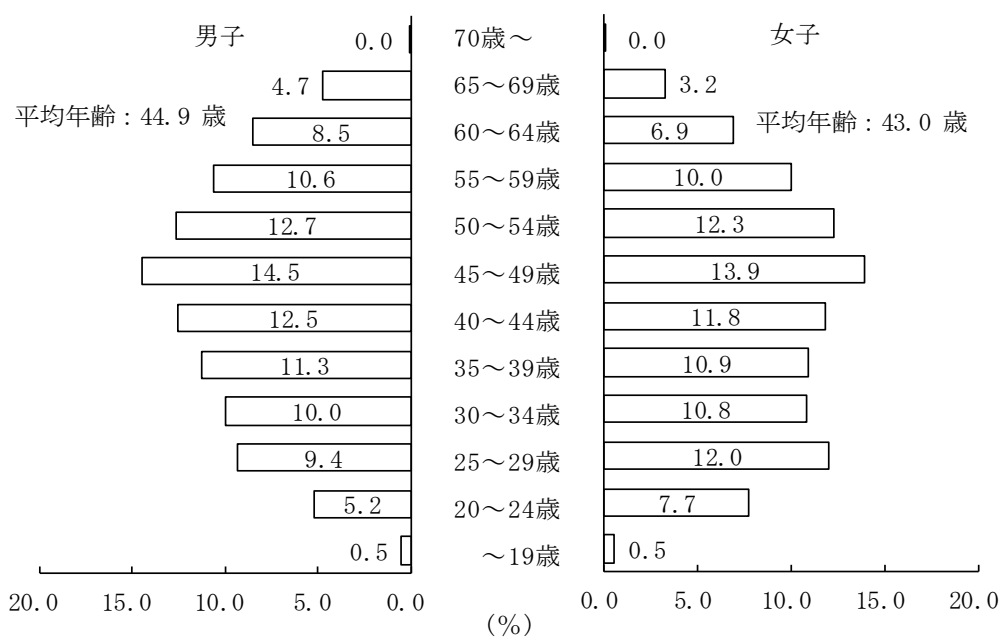
(年度末現在)

| | 事業所数 (千か所) | (再掲)短時間 労働者 (千か所) | 被保険者数(万人) | | | | | | | | | |
|------------|---------------|-------------------------|-----------|-------|-------|-----------------|------|------|----------------------|-----|------|-----|
| | | | | | | (再掲)短時間労働者数(万人) | | | (再掲)育児休業等保険料免除者数(万人) | | | |
| | | | 総数 | 男子 | 女子 | 総数 | 男子 | 女子 | 総数 | 男子 | 女子 | |
| 平成28年度 | 2,109 | 27 | 3,822 | 2,398 | 1,424 | 29 | 9 | 20 | 36 | 0.3 | 35 | |
| 29 | 2,227 | 33 | 3,911 | 2,442 | 1,470 | 38 | 11 | 27 | 38 | 0.3 | 38 | |
| 30 | 2,337 | 35 | 3,981 | 2,469 | 1,512 | 43 | 12 | 31 | 41 | 0.4 | 41 | |
| 令和元年度 | 2,436 | 37 | 4,037 | 2,488 | 1,550 | 47 | 13 | 34 | 43 | 0.7 | 42 | |
| 2 | 2,509 | 38 | 4,047 | 2,479 | 1,569 | 53 | 14 | 39 | 45 | 1.0 | 44 | |
| 伸び率 (%) | 平成28年度 | 6.8 | ・ | 3.7 | 2.6 | 5.6 | ・ | ・ | ・ | 6.9 | 25.9 | 6.8 |
| | 29 | 5.6 | 21.0 | 2.3 | 1.8 | 3.2 | 31.8 | 29.7 | 32.6 | 8.3 | 30.1 | 8.1 |
| | 30 | 4.9 | 6.9 | 1.8 | 1.1 | 2.9 | 13.6 | 11.0 | 14.7 | 6.4 | 32.3 | 6.2 |
| | 令和元年度 | 4.2 | 5.7 | 1.4 | 0.8 | 2.5 | 8.6 | 4.3 | 10.3 | 5.1 | 65.4 | 4.5 |
| | 2 | 3.0 | 2.7 | 0.2 | △0.4 | 1.2 | 12.3 | 6.6 | 14.4 | 5.0 | 35.2 | 4.5 |

- 注1. 事業所数には船舶所有者を含む。
 2. 被保険者数及び育児休業等保険料免除者数の男子には船員・坑内員を含む。
 3. 短時間労働者数の男子には坑内員を含む。
 4. 令和2年度末の短時間労働者のうち、強制加入の事業所数は30,073、被保険者数は520,299人、任意加入の事業所数は7,958、被保険者数は9,803人である。
 5. 育児休業等保険料免除者数には産前産後休業期間の保険料免除者を含む。

- 令和2年度末現在の被保険者の年齢構成は、男女共に40代の割合が最も高くなっている。平均年齢は、男子は44.9歳、女子は43.0歳となっている。

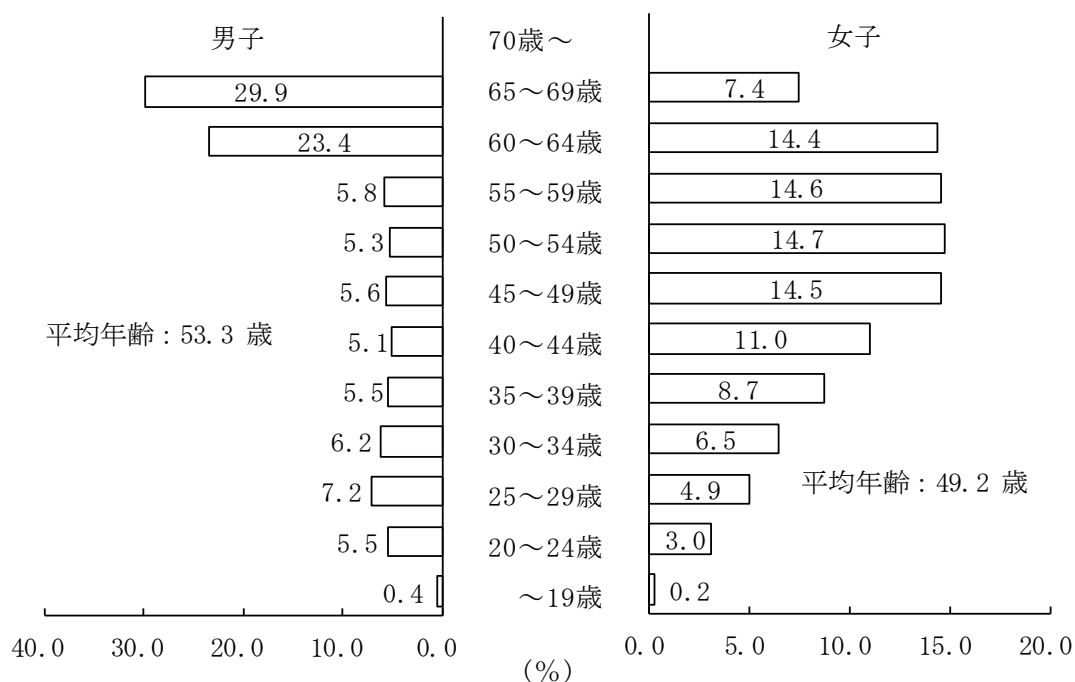
図3 厚生年金保険（第1号）被保険者の年齢構成（令和2年度末）



注. 男子には船員・坑内員を含む。

- 令和2年度末現在の短時間労働者の年齢構成は、男子は60～64歳、65～69歳の割合が他の年齢階級と比較して高くなっており、女子は50～54歳の割合が最も高くなっている。平均年齢は、男子は53.3歳、女子は49.2歳となっている。

図4 厚生年金保険（第1号）短時間労働者の年齢構成（令和2年度末）



注. 男子には坑内員を含む。

- 標準報酬月額平均は、令和2年度末現在で31万3千円(男子は35万5千円、女子は24万7千円)であり、前年度末に比べて0.5%減少している。令和2年度の年度平均についても、31万3千円(男子は35万5千円、女子は24万6千円)と、前年度に比べて0.1%減少している。
- 短時間労働者の標準報酬月額平均は、令和2年度末現在14万6千円(男子は15万8千円、女子は14万2千円)であり、前年度末に比べて0.8%減少している。令和2年度の年度平均については、14万6千円(男子は15万9千円、女子は14万2千円)と、前年度に比べて0.1%増加している。
- 標準賞与額の1回当たりの平均は、令和2年度で42万7千円(男子は50万4千円、女子は29万6千円)であり、前年度に比べて5.5%減少している。
- 短時間労働者の標準賞与額の1回当たりの平均は、令和2年度で8万7千円(男子は11万5千円、女子は7万8千円)である。
- 一人当たり標準報酬額(総報酬ベース・年額)は、令和2年度で442万4千円(男子は506万8千円、女子は340万2千円)であり、前年度に比べて0.6%減少している。
- 短時間労働者の一人当たり標準報酬額(総報酬ベース・年額)は、令和2年度で185万8千円(男子は203万7千円、女子は179万3千円)である。

表4 厚生年金保険(第1号)の標準報酬月額等の推移

| | | 標準報酬月額の平均 (年度末現在) | | | | | | 標準報酬月額の平均 (年度平均) | | | | | |
|------------|--------|----------------------|---------|---------|------------|---------|---------|---------------------|---------|---------|------------|---------|---------|
| | | | | | (再掲)短時間労働者 | | | | | | (再掲)短時間労働者 | | |
| | | 総数 | 男子 | 女子 | 総数 | 男子 | 女子 | 総数 | 男子 | 女子 | 総数 | 男子 | 女子 |
| 実数 (円) | 平成28年度 | 308,133 | 350,093 | 237,462 | 126,946 | 139,893 | 121,494 | 307,896 | 349,362 | 237,428 | 126,062 | 139,346 | 120,362 |
| | 29 | 309,994 | 351,960 | 240,264 | 139,312 | 152,136 | 134,033 | 308,352 | 350,144 | 238,693 | 135,560 | 148,698 | 130,026 |
| | 30 | 312,678 | 354,960 | 243,623 | 144,795 | 158,108 | 139,489 | 310,870 | 352,914 | 241,940 | 142,997 | 156,273 | 137,618 |
| | 令和元年度 | 314,798 | 357,226 | 246,693 | 146,999 | 160,307 | 141,984 | 312,996 | 355,229 | 244,951 | 146,026 | 159,335 | 140,866 |
| | 2 | 313,099 | 355,232 | 246,518 | 145,843 | 158,111 | 141,537 | 312,838 | 354,921 | 246,025 | 146,131 | 158,834 | 141,572 |
| 伸び率 (%) | 平成28年度 | △ 0.3 | △ 0.0 | △ 0.0 | ・ | ・ | ・ | △ 0.0 | 0.1 | 0.4 | ・ | ・ | ・ |
| | 29 | 0.6 | 0.5 | 1.2 | 9.7 | 8.8 | 10.3 | 0.1 | 0.2 | 0.5 | 7.5 | 6.7 | 8.0 |
| | 30 | 0.9 | 0.9 | 1.4 | 3.9 | 3.9 | 4.1 | 0.8 | 0.8 | 1.4 | 5.5 | 5.1 | 5.8 |
| | 令和元年度 | 0.7 | 0.6 | 1.3 | 1.5 | 1.4 | 1.8 | 0.7 | 0.7 | 1.2 | 2.1 | 2.0 | 2.4 |
| | 2 | △ 0.5 | △ 0.6 | △ 0.1 | △ 0.8 | △ 1.4 | △ 0.3 | △ 0.1 | △ 0.1 | 0.4 | 0.1 | △ 0.3 | 0.5 |

| | | 標準賞与額1回当たりの平均 | | | | | | 一人当たり標準報酬額 (総報酬ベース・年額) | | | | | |
|------------|--------|---------------|---------|---------|------------|---------|--------|---------------------------|-----------|-----------|------------|-----------|-----------|
| | | | | | (再掲)短時間労働者 | | | | | | (再掲)短時間労働者 | | |
| | | 総数 | 男子 | 女子 | 総数 | 男子 | 女子 | 総数 | 男子 | 女子 | 総数 | 男子 | 女子 |
| 実数 (円) | 平成28年度 | 440,335 | 513,525 | 304,003 | ... | ... | ... | 4,375,042 | 5,012,331 | 3,292,015 | ... | ... | ... |
| | 29 | 444,626 | 518,814 | 308,687 | 73,474 | 118,340 | 52,172 | 4,386,088 | 5,030,103 | 3,312,645 | 1,683,967 | 1,884,533 | 1,599,484 |
| | 30 | 449,984 | 526,014 | 313,112 | 75,952 | 118,279 | 57,830 | 4,424,329 | 5,074,502 | 3,358,393 | 1,776,090 | 1,972,622 | 1,696,461 |
| | 令和元年度 | 451,404 | 527,450 | 316,599 | 79,504 | 120,379 | 62,719 | 4,450,343 | 5,103,451 | 3,398,066 | 1,813,728 | 2,008,934 | 1,738,059 |
| | 2 | 426,508 | 504,414 | 295,861 | 87,327 | 114,637 | 78,030 | 4,424,204 | 5,068,255 | 3,401,652 | 1,857,558 | 2,037,255 | 1,793,057 |
| 伸び率 (%) | 平成28年度 | △ 0.1 | 0.0 | 0.3 | ・ | ・ | ・ | △ 0.1 | △ 0.0 | 0.3 | ・ | ・ | ・ |
| | 29 | 1.0 | 1.0 | 1.5 | ... | ... | ... | 0.3 | 0.4 | 0.6 | ... | ... | ... |
| | 30 | 1.2 | 1.4 | 1.4 | 3.4 | △ 0.1 | 10.8 | 0.9 | 0.9 | 1.4 | 5.5 | 4.7 | 6.1 |
| | 令和元年度 | 0.3 | 0.3 | 1.1 | 4.7 | 1.8 | 8.5 | 0.6 | 0.6 | 1.2 | 2.1 | 1.8 | 2.5 |
| | 2 | △ 5.5 | △ 4.4 | △ 6.6 | 9.8 | △ 4.8 | 24.4 | △ 0.6 | △ 0.7 | 0.1 | 2.4 | 1.4 | 3.2 |

- 注1. 男子には船員・坑内員を含む。
 2. 短時間労働者数の男子には坑内員を含む。
 3. 標準報酬月額の平均(年度平均)は、標準報酬月額年度累計を、各年4月から翌年3月までの被保険者数の合計で割ったものである。
 4. 標準賞与額1回当たりの平均は、標準賞与額年度累計を、賞与支給延被保険者数で割ったものである。
 5. 一人当たり標準報酬額は、標準報酬月額年度累計と標準賞与額年度累計の合計を、各年4月から翌年3月までの平均被保険者数で割ったものである。

(2) 給付状況

- 令和2年度末現在の厚生年金保険（第1号）受給者数は、前年度末に比べて38万人（1.1%）増加し、3,581万人となっている。うち、老齢年金の受給者数は1,553万人となっている。

表5 厚生年金保険（第1号）受給者数の推移

（年度末現在、単位：万人）

| | 総数 | 老齢年金 | 通算老齢年金 ・25年未満 | 障害年金 | 遺族給付 |
|--------|-------|-------|------------------|------|------|
| 平成28年度 | 3,409 | 1,496 | 1,330 | 42 | 541 |
| 29 | 3,506 | 1,521 | 1,395 | 43 | 548 |
| 30 | 3,530 | 1,541 | 1,390 | 44 | 555 |
| 令和元年度 | 3,543 | 1,539 | 1,397 | 45 | 562 |
| 2 | 3,581 | 1,553 | 1,415 | 47 | 567 |

- 注1．厚生年金保険（第1号）の受給者は、厚生年金保険受給者全体から、共済組合等の組合員等たる厚生年金保険の被保険者期間（平成27年9月以前の共済組合等の組合員等の期間を含む）のみの者を除き、さらに、障害厚生年金受給者及び短期要件分の遺族厚生年金受給者について、それぞれ初診日又は死亡日に共済組合等の組合員等であった者を除いた者を計上している。
- 2．新法老齢厚生年金のうち、旧法の老齢年金に相当するものは「老齢年金」に、それ以外のものは「通算老齢年金・25年未満」に計上している。新法退職共済年金についても同様。
- 3．遺族給付には、通算遺族年金を含む。

- 厚生年金保険（第1号）受給者の平均年金月額、令和2年度末現在で、老齢年金は14万6千円となっている。

表6 厚生年金保険（第1号）受給者平均年金月額の推移

（年度末現在、単位：円）

| | 老齢年金 | | | 通算老齢年金 ・25年未満 | 障害年金 | 遺族年金 |
|--------|---------|-----------------------|----------------------|------------------|---------|--------|
| | | （再掲） 基礎または 定額あり | （再掲） 基礎及び 定額なし | | | |
| 平成28年度 | 147,927 | 155,341 | 73,805 | 59,837 | 102,398 | 84,694 |
| 29 | 147,051 | 153,861 | 72,228 | 59,621 | 102,890 | 84,180 |
| 30 | 145,865 | 153,049 | 69,095 | 60,687 | 102,855 | 83,704 |
| 令和元年度 | 146,162 | 152,109 | 66,574 | 61,509 | 102,711 | 83,285 |
| 2 | 146,145 | 151,543 | 66,934 | 62,116 | 102,477 | 82,947 |

- 注1．新法老齢厚生年金のうち、旧法の老齢年金に相当するものは「老齢年金」に、それ以外のものは「通算老齢年金・25年未満」に計上している。新法退職共済年金についても同様。
- 2．「基礎または定額あり」とは、老齢基礎年金又は特別支給の老齢厚生年金の定額部分を受給している者をいい、「基礎及び定額なし」とは、新法のうち、上記以外（老齢基礎年金及び特別支給の老齢厚生年金の定額部分を受給していない者）をいう。
- 3．遺族年金には、通算遺族年金を含まない。
- 4．平均年金月額には、基礎年金月額を含む。

- 令和2年度末現在の厚生年金保険（第1号）受給権者数は、前年度末に比べて33万人（0.9%）増加し、3,768万人となっている。うち、老齢年金の受給権者数は1,610万人となっている。

表7 厚生年金保険（第1号）受給権者数の推移

（年度末現在、単位：万人）

| | 総数 | 老齢年金 | 通算老齢年金 ・25年未満 | 障害年金 | 遺族給付 |
|--------|-------|-------|------------------|------|------|
| 平成28年度 | 3,626 | 1,569 | 1,420 | 60 | 576 |
| 29 | 3,718 | 1,590 | 1,483 | 62 | 583 |
| 30 | 3,735 | 1,609 | 1,472 | 63 | 591 |
| 令和元年度 | 3,735 | 1,599 | 1,475 | 64 | 597 |
| 2 | 3,768 | 1,610 | 1,490 | 66 | 602 |

- 注1．厚生年金保険（第1号）の受給権者は、厚生年金保険受給権者全体から、共済組合等の組合員等たる厚生年金保険の被保険者期間（平成27年9月以前の共済組合等の組合員等の期間を含む）のみの者を除き、さらに、障害厚生年金受給権者及び短期要件分の遺族厚生年金受給権者について、それぞれ初診日又は死亡日に共済組合等の組合員等であった者を除いた者を計上している。
- 2．新法老齢厚生年金のうち、旧法の老齢年金に相当するものは「老齢年金」に、それ以外のものは「通算老齢年金・25年未満」に計上している。新法退職共済年金についても同様。
- 3．遺族給付には、通算遺族年金を含む。

- 厚生年金保険（第1号）受給権者の平均年金月額は、令和2年度末現在で、老齢年金は14万4千円となっている。

表8 厚生年金保険（第1号）受給権者平均年金月額の推移

（年度末現在、単位：円）

| | 老齢年金 | （再掲） | | 通算老齢年金 ・25年未満 | 障害年金 | 遺族年金 |
|--------|---------|---------------|--------------|------------------|--------|--------|
| | | 基礎または 定額あり | 基礎及び 定額なし | | | |
| 平成28年度 | 145,638 | 153,951 | 77,528 | 59,100 | 97,039 | 82,477 |
| 29 | 144,903 | 152,595 | 76,033 | 58,929 | 97,281 | 81,986 |
| 30 | 143,761 | 151,923 | 73,091 | 59,998 | 97,246 | 81,566 |
| 令和元年度 | 144,268 | 151,068 | 70,492 | 60,842 | 97,175 | 81,201 |
| 2 | 144,366 | 150,580 | 70,924 | 61,445 | 97,061 | 80,892 |

- 注1．新法老齢厚生年金のうち、旧法の老齢年金に相当するものは「老齢年金」に、それ以外のものは「通算老齢年金・25年未満」に計上している。新法退職共済年金についても同様。
- 2．「基礎または定額あり」とは、老齢基礎年金又は特別支給の老齢厚生年金の定額部分を受給している者をいい、「基礎及び定額なし」とは、新法のうち、上記以外（老齢基礎年金及び特別支給の老齢厚生年金の定額部分を受給していない者）をいう。
- 3．遺族年金には、通算遺族年金を含まない。
- 4．平均年金月額には、基礎年金月額を含む。

- 令和2年度末現在の厚生年金保険（第1号）受給者の年金総額は、前年度末に比べて750億円（0.3%）増加し、25兆5,715億円となっている。

表9 厚生年金保険（第1号）受給者年金総額の推移

（年度末現在、単位：億円）

| | 総数 | 老齢年金 | 通算老齢年金 ・25年未満 | 障害年金 | 遺族給付 |
|--------|---------|---------|------------------|-------|--------|
| 平成28年度 | 257,008 | 175,946 | 24,018 | 3,020 | 54,024 |
| 29 | 258,091 | 175,534 | 25,089 | 3,035 | 54,433 |
| 30 | 256,643 | 174,244 | 24,410 | 3,072 | 54,917 |
| 令和元年度 | 254,965 | 172,034 | 24,483 | 3,139 | 55,309 |
| 2 | 255,715 | 172,010 | 24,856 | 3,221 | 55,629 |

- 注1．厚生年金保険（第1号）受給者の年金総額は、厚生年金保険（第1号）受給者の年金総額を計上しており、老齢給付及び遺族年金（長期要件）については、平成27年9月以前の厚生年金保険被保険者期間及び平成27年10月以降の第1号厚生年金被保険者期間に係る年金総額を、平成27年10月以降に受給権が発生した障害厚生年金及び遺族厚生年金（短期要件）については、共済組合等の組合員等たる厚生年金保険の被保険者期間（平成27年9月以前の共済組合等の組合員等の期間を含む）を含めて算出した年金総額を計上している。
- 2．新法老齢厚生年金のうち、旧法の老齢年金に相当するものは「老齢年金」に、それ以外のものは「通算老齢年金・25年未満」に計上している。新法退職共済年金についても同様。
- 3．遺族給付には、通算遺族年金を含む。

- 令和2年度末現在の厚生年金保険（第1号）受給権者の年金総額は、前年度末に比べて525億円（0.2%）増加し、26兆4,886億円となっている。

表10 厚生年金保険（第1号）受給権者年金総額の推移

（年度末現在、単位：億円）

| | 総数 | 老齢年金 | 通算老齢年金 ・25年未満 | 障害年金 | 遺族給付 |
|--------|---------|---------|------------------|-------|--------|
| 平成28年度 | 268,132 | 182,442 | 25,615 | 4,552 | 55,523 |
| 29 | 268,863 | 181,658 | 26,691 | 4,572 | 55,941 |
| 30 | 267,035 | 180,125 | 25,854 | 4,617 | 56,439 |
| 令和元年度 | 264,361 | 176,993 | 25,847 | 4,672 | 56,849 |
| 2 | 264,886 | 176,759 | 26,186 | 4,745 | 57,196 |

- 注1．厚生年金保険（第1号）受給権者の年金総額は、厚生年金保険（第1号）受給権者の年金総額を計上しており、老齢給付及び遺族年金（長期要件）については、平成27年9月以前の厚生年金保険被保険者期間及び平成27年10月以降の第1号厚生年金被保険者期間に係る年金総額を、平成27年10月以降に受給権が発生した障害厚生年金及び遺族厚生年金（短期要件）については、共済組合等の組合員等たる厚生年金保険の被保険者期間（平成27年9月以前の共済組合等の組合員等の期間を含む）を含めて算出した年金総額を計上している。
- 2．新法老齢厚生年金のうち、旧法の老齢年金に相当するものは「老齢年金」に、それ以外のものは「通算老齢年金・25年未満」に計上している。新法退職共済年金についても同様。
- 3．遺族給付には、通算遺族年金を含む。

- 令和2年度における新規裁定の老齢年金受給権者数は、52万4千人であり、平均年金月額は、8万4千円である。
- 令和2年度における新規裁定の老齢年金受給者数は、40万人であり、平均年金月額は、8万1千円である。

表11 厚生年金保険（第1号） 老齢年金受給権者・受給者の新規裁定状況の推移

(単位：万人、円)

| | 受給権者 | | 受給者 | |
|--------|-------|--------|------|--------|
| | 受給権者数 | 平均年金月額 | 受給者数 | 平均年金月額 |
| 平成28年度 | 29.3 | 77,180 | 20.8 | 73,593 |
| 29 | 51.5 | 82,374 | 38.9 | 79,230 |
| 30 | 51.0 | 86,658 | 38.0 | 83,377 |
| 令和元年度 | 28.0 | 79,579 | 21.3 | 77,201 |
| 2 | 52.4 | 83,956 | 40.0 | 80,810 |

注1．新法老齢厚生年金については、旧法の老齢年金に相当するものを「老齢年金」としている。新法退職共済年金についても同様。

注2．平均年金月額には、基礎年金月額を含む。

- 男子については、特別支給の老齢厚生年金における定額部分の支給開始年齢が平成13年度から段階的に引き上げられたことにより、原則として定額部分のない報酬比例部分のみの年金となったため、老齢年金受給権者の平均年金月額の水準には、64歳までと65歳以上で大きな違いが見られる。

また、報酬比例部分についても、支給開始年齢が平成25年度に61歳、平成28年度に62歳、令和元年度に63歳に引き上げられた。そのため、老齢年金受給権者数は、平成28年度から平成30年度の60歳・61歳と令和元年度から令和2年度の60歳・61歳・62歳で少なくなっている。なお、これらの者（平成30年度から令和2年度の60歳を除く）には、支給開始年齢が遅れて引き上がる、年金額が比較的高い坑内員や船員の受給権者が含まれていることなどにより、平均年金月額が高くなっている。

また、平成30年度から令和2年度の60歳の受給権者については、平成30年度から坑内員・船員に関する特別支給の老齢厚生年金の支給開始年齢が61歳に引き上がり、平成30年度から令和2年度の60歳の受給権者に坑内員・船員の受給権者は含まれていない（繰上げを選択した者を除く）。そのため、平成30年度から令和2年度の60歳の平均年金月額は、平成29年度の60歳と比較して低くなっている。

表12 厚生年金保険（第1号） 老齢年金受給権者状況の推移（男子）

（年度末現在）

| | 受給権者数（万人） | | | | | |
|--------|-----------|-----|------|------|------|-------|
| | 60歳 | 61歳 | 62歳 | 63歳 | 64歳 | 65歳以上 |
| 平成28年度 | 0.6 | 1.3 | 41.4 | 42.4 | 47.3 | 916.8 |
| 29 | 0.5 | 1.0 | 33.4 | 42.6 | 43.2 | 942.1 |
| 30 | 0.4 | 1.0 | 32.3 | 42.7 | 43.5 | 961.7 |
| 令和元年度 | 0.5 | 1.0 | 1.4 | 40.6 | 44.2 | 979.0 |
| 2 | 0.4 | 1.1 | 1.4 | 31.8 | 42.1 | 994.8 |

| | 平均年金月額（円） | | | | | |
|--------|-----------|---------|---------|---------|---------|---------|
| | 60歳 | 61歳 | 62歳 | 63歳 | 64歳 | 65歳以上 |
| 平成28年度 | 121,853 | 120,670 | 92,332 | 100,742 | 103,399 | 176,655 |
| 29 | 114,597 | 119,480 | 89,199 | 95,274 | 102,572 | 174,535 |
| 30 | 96,673 | 112,496 | 87,404 | 90,957 | 97,209 | 172,742 |
| 令和元年度 | 92,548 | 109,765 | 114,206 | 89,364 | 92,916 | 171,305 |
| 2 | 92,271 | 104,007 | 113,300 | 90,544 | 91,322 | 170,391 |

注1．新法老齢厚生年金については、旧法の老齢年金に相当するものを「老齢年金」としている。新法退職共済年金についても同様。

注2．平均年金月額には、基礎年金月額を含む。

- 女子については、特別支給の老齢厚生年金における定額部分の支給開始年齢が平成18年度から段階的に引き上げられ、平成30年度からは定額部分のない報酬比例部分のみの年金となったため、老齢年金受給権者の平均年金月額の水準には、平成28年度及び平成29年度は63歳までと64歳以降で、平成30年度から令和2年度は64歳までと65歳以上で大きな違いが見られる。

また、報酬比例部分についても、支給開始年齢が平成30年度に61歳に引き上げられた。そのため、老齢年金受給権者数は、平成30年度から令和2年度の60歳で少なくなっている。なお、平成30年度から令和2年度の60歳の受給権者は、繰上げを選択した者であり、基礎年金も同時に繰上げが行われるため、平均年金月額が高くなっている。

表13 厚生年金保険（第1号） 老齢年金受給権者状況の推移（女子）

（年度末現在）

| | 受給権者数（万人） | | | | | |
|--------|-----------|------|------|------|------|-------|
| | 60歳 | 61歳 | 62歳 | 63歳 | 64歳 | 65歳以上 |
| 平成28年度 | 9.2 | 12.7 | 15.4 | 15.9 | 18.2 | 447.6 |
| 29 | 8.7 | 11.4 | 14.5 | 15.7 | 16.3 | 460.4 |
| 30 | 0.1 | 11.3 | 13.3 | 15.6 | 16.0 | 470.8 |
| 令和元年度 | 0.1 | 10.3 | 11.7 | 14.3 | 16.0 | 479.6 |
| 2 | 0.1 | 10.1 | 12.9 | 13.4 | 14.7 | 487.2 |

| | 平均年金月額（円） | | | | | |
|--------|-----------|--------|--------|--------|--------|---------|
| | 60歳 | 61歳 | 62歳 | 63歳 | 64歳 | 65歳以上 |
| 平成28年度 | 53,381 | 53,326 | 49,449 | 51,952 | 97,761 | 108,964 |
| 29 | 53,034 | 54,522 | 49,299 | 50,272 | 99,889 | 108,776 |
| 30 | 81,956 | 54,154 | 50,006 | 48,378 | 51,026 | 108,756 |
| 令和元年度 | 82,643 | 54,108 | 54,689 | 49,105 | 49,117 | 108,813 |
| 2 | 82,547 | 54,791 | 54,887 | 50,889 | 49,926 | 109,205 |

注1．新法老齢厚生年金については、旧法の老齢年金に相当するものを「老齢年金」としている。新法退職共済年金についても同様。

2．平均年金月額には、基礎年金月額を含む。

- 令和2年度末現在の在職者の老齢給付の受給権者数は、401万人となっており、前年度末に比べて7万人（1.9%）の増加となっている。
- 令和2年度末現在の在職者の老齢給付の受給者数は、366万人となっており、前年度末に比べて9万人（2.5%）の増加となっている。

表14 在職者にかかる厚生年金保険（第1号）老齢給付状況の推移

（年度末現在、単位：万人）

| | 受給権者数 | | | 受給者数 | | |
|--------|------------------|------------------|-----------------|------------------|------------------|-----------------|
| | 総数 | 男子 | 女子 | 総数 | 男子 | 女子 |
| 平成28年度 | 364.1 (204.0) | 235.8 (144.3) | 128.3 (59.7) | 319.8 (202.6) | 206.8 (143.8) | 113.0 (58.8) |
| 29 | 389.4 (228.5) | 249.1 (161.1) | 140.3 (67.3) | 345.7 (227.1) | 221.6 (160.6) | 124.1 (66.5) |
| 30 | 400.3 (248.1) | 263.6 (174.4) | 136.6 (73.7) | 357.5 (246.7) | 235.0 (173.8) | 122.5 (72.9) |
| 令和元年度 | 393.1 (266.1) | 250.5 (186.4) | 142.6 (79.6) | 357.3 (264.6) | 229.2 (185.8) | 128.1 (78.8) |
| 2 | 400.5 (277.4) | 250.7 (193.3) | 149.8 (84.1) | 366.4 (276.0) | 231.8 (192.7) | 134.5 (83.3) |

注1．老齢給付（老齢年金及び通算老齢年金・25年未満）の受給権者及び受給者を計上している。

2．在職者とは、① 厚生年金保険の被保険者

② 適用事業所に使用される70歳以上の者

③ 国会議員もしくは地方公共団体の議会の議員

である老齢給付の受給権者及び受給者である。

また、本表においては在職者にかかる数値を計上しており、在職老齢年金制度による支給停止の対象とならない者を含む。

3．（ ）内の数値は、65歳以上の新法老齢厚生年金受給権者数及び受給者数（旧共済組合を除く）である。

- 新法厚生年金保険（老齢厚生年金）受給権者のうち、特別支給の老齢厚生年金の受給権者を含まない受給権者は、繰下げ率が、令和2年度末現在で1.0%となっている。

表15 厚生年金保険（第1号）
新法厚生年金保険（老齢厚生年金）受給権者の繰上げ・繰下げ受給状況の推移

（年度末現在、単位：人、％）

| | 総 数 | 繰 上 げ | | 本 来 | | 繰 下 げ | |
|--------|------------|---------|-----|------------|------|---------|-----|
| | | | 受給率 | | 受給率 | | 受給率 |
| 平成29年度 | 25,296,195 | 59,898 | 0.2 | 25,069,286 | 99.1 | 167,011 | 0.7 |
| 30 | 26,047,628 | 77,560 | 0.3 | 25,779,911 | 99.0 | 190,157 | 0.7 |
| 令和元年度 | 26,689,859 | 102,497 | 0.4 | 26,365,725 | 98.8 | 221,637 | 0.8 |
| 2 | 27,272,504 | 128,171 | 0.5 | 26,876,735 | 98.5 | 267,598 | 1.0 |

注1．老齢厚生年金受給権者総数には、特別支給の老齢厚生年金の受給権者を含めていない。これは、特別支給の老齢厚生年金は繰下げできないためである。

2．老齢厚生年金の繰上げ制度は報酬比例部分の支給開始年齢引上げに伴い導入されている。

（参考）

（年度末現在、単位：人、％）

| | 総 数 | 繰 上 げ | | 本 来 | | 繰 下 げ | |
|--------|------------|--------|-----|------------|------|---------|-----|
| | | | 受給率 | | 受給率 | | 受給率 |
| 平成28年度 | 24,081,359 | 46,310 | 0.2 | 23,756,169 | 98.6 | 278,880 | 1.2 |

注．平成29年度より、本来と繰下げの分類を変更しており、本表は分類変更前の数値である。

- ・ 平成28年度の本来と繰下げの分類は、平成19年3月以前に本来・繰下げ支給の受給権が発生した受給権者については基礎年金の状況で判定しており、平成28年度の数値には、当該受給権者のうち基礎年金のみの繰下げ者が含まれている。
- ・ 平成29年度からは、当該受給権者についても老齢厚生年金の状況で繰下げを判定するよう変更し、精緻化した。

- 受給開始時期の選択を終了した、年度末時点で70歳の新法厚生年金保険（老齢厚生年金）受給権者の繰上げ・繰下げ状況をみると、繰下げ率が、令和2年度末現在で1.6%となっている。

表16 厚生年金保険（第1号）
新法厚生年金保険（老齢厚生年金） 70歳の繰上げ・繰下げ受給状況の推移

(年度末現在、単位：人、%)

| | 総 数 | 繰 上 げ | | 本 来 | | 繰 下 げ | |
|--------|-----------|-------|-----|-----------|------|--------|-----|
| | | | 受給率 | | 受給率 | | 受給率 |
| 平成28年度 | 1,353,086 | ・ | ・ | 1,339,282 | 99.0 | 13,801 | 1.0 |
| 29 | 1,789,123 | ・ | ・ | 1,768,519 | 98.8 | 20,600 | 1.2 |
| 30 | 1,767,764 | ・ | ・ | 1,745,969 | 98.8 | 21,790 | 1.2 |
| 令和元年度 | 1,739,862 | ・ | ・ | 1,714,546 | 98.5 | 25,314 | 1.5 |
| 2 | 1,583,026 | ・ | ・ | 1,557,326 | 98.4 | 25,698 | 1.6 |

- 注1．繰上げ下げ状況が不詳の者がいるため、繰上げ、本来、繰下げの和は総数と一致しないことがある。
 注2．受給開始時期の選択を終了した、年度末時点で70歳の新法厚生年金保険（老齢厚生年金）受給権者の繰上げ・繰下げ状況である。
 注3．老齢厚生年金の繰上げ制度は報酬比例部分の支給開始年齢引上げに伴い導入されており、表中の年度末時点において70歳の者については、老齢厚生年金の繰上げ制度の対象となっていない。

Ⅲ. 国民年金

(1) 適用状況（第1号被保険者及び第3号被保険者）

- 令和2年度末現在の第1号被保険者数（任意加入被保険者を含む）は、1,449万人となっており、前年度末に比べて4万人（0.3%）減少している。男女別にみると、男子は758万人（対前年度末比1万人、0.2%増）、女子は691万人（対前年度末比5万人、0.7%減）となっている。
- 令和2年度末現在の第3号被保険者数は、793万人となっており、前年度末に比べて27万人（3.3%）減少している。男女別にみると、男子は12万人（対前年度末比3千人、2.9%増）、女子は781万人（対前年度末比28万人、3.4%減）となっている。

表17 国民年金 被保険者数の推移

（年度末現在、単位：万人）

| | 第1号被保険者 （任意加入被保険者を含む） | | | | | | | 第3号被保険者 | | |
|--------|--------------------------|-----|-----|--------------|-------|--------|-------|---------|----|-----|
| | | | | （再掲）任意加入被保険者 | | | | | | |
| | 総数 | 男子 | 女子 | 総数 | 60歳未満 | 60～64歳 | 65歳以上 | 総数 | 男子 | 女子 |
| 平成28年度 | 1,575 | 816 | 759 | 21 | 5 | 16 | 1 | 889 | 11 | 878 |
| 29 | 1,505 | 779 | 726 | 20 | 4 | 15 | 0 | 870 | 11 | 859 |
| 30 | 1,471 | 764 | 707 | 19 | 4 | 15 | 0 | 847 | 11 | 836 |
| 令和元年度 | 1,453 | 757 | 696 | 19 | 4 | 15 | 0 | 820 | 11 | 809 |
| 2 | 1,449 | 758 | 691 | 19 | 4 | 15 | 0 | 793 | 12 | 781 |

- 令和2年度末現在の全額免除・猶予者数は609万人、全額免除・猶予割合は42.6%となっている。
- 令和2年度末現在の一部免除者数は36万人、一部免除割合は2.5%となっている。
- また、令和元年度から国民年金第1号被保険者が出産した際に、出産前後の一定期間の国民年金保険料が免除される「国民年金保険料の産前産後期間の免除制度」が施行されている。令和2年度末現在の産前産後免除者数は、1万人となっている。

表18 国民年金 保険料全額免除・猶予者数及び一部免除者数の推移

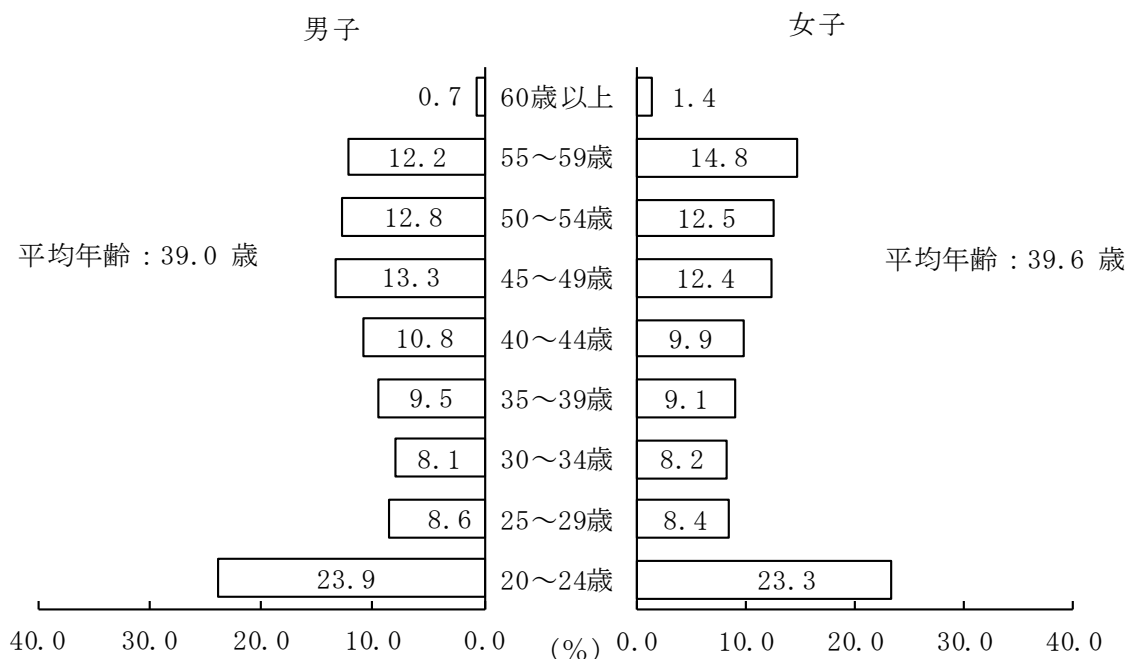
（年度末現在、単位：万人）

| | 全額免除・猶予者 | | | | | | 一部免除者 | | | | | 産前産後免除者 |
|--------|----------|---------------|------|--------|--------|------|-------|------------|---------|--------|---------|---------|
| | 総数 | 全額免除・猶予割合 (%) | 法定免除 | 申請全額免除 | 学生納付特例 | 納付猶予 | 総数 | 一部免除割合 (%) | 申請3/4免除 | 申請半額免除 | 申請1/4免除 | |
| 平成28年度 | 583 | (37.5) | 135 | 221 | 176 | 51 | 43 | (2.8) | 22 | 14 | 7 | ・ |
| 29 | 574 | (38.7) | 134 | 211 | 176 | 53 | 41 | (2.8) | 21 | 13 | 7 | ・ |
| 30 | 574 | (39.5) | 135 | 205 | 179 | 55 | 40 | (2.7) | 20 | 13 | 7 | ・ |
| 令和元年度 | 583 | (40.6) | 136 | 212 | 180 | 55 | 41 | (2.8) | 20 | 13 | 7 | 1 |
| 2 | 609 | (42.6) | 139 | 235 | 177 | 58 | 36 | (2.5) | 19 | 11 | 6 | 1 |

注．「全額免除・猶予割合」及び「一部免除割合」とは、全額免除・猶予者数及び一部免除者数が、それぞれ第1号被保険者数（任意加入被保険者を除く）に占める割合（%）である。

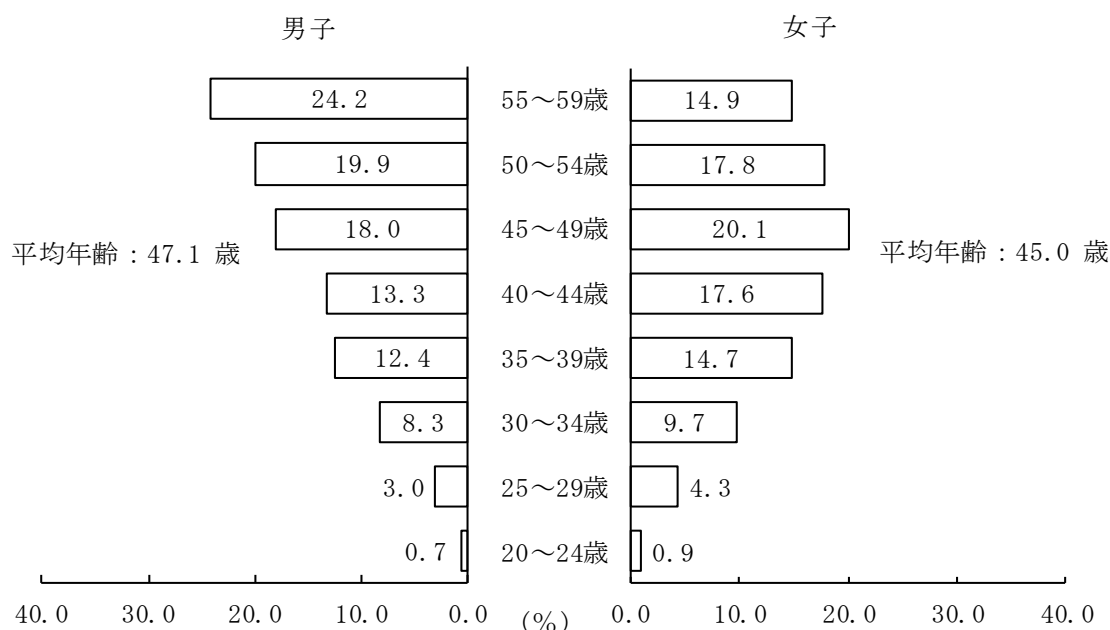
- 令和2年度末現在の被保険者の年齢構成は、第1号被保険者（任意加入被保険者を含む）では、男女共に20～24歳の割合が最も高く、次いで男子は45～49歳、女子は55～59歳の割合が高くなっている。また、第3号被保険者では、男子は55～59歳、女子は45～49歳の割合が高くなっている。第1号被保険者の平均年齢は、男子は39歳、女子は39.6歳となっている。

図5 国民年金第1号被保険者の年齢構成（令和2年度末）



注. 「国民年金第1号被保険者」には、任意加入被保険者を含む。

図6 国民年金第3号被保険者の年齢構成（令和2年度末）



(2) 給付状況

- 令和2年度末現在の国民年金受給者数は、前年度末に比べて32万人(0.9%)増加し、3,596万人となっている。そのうち、基礎のみ共済なし・旧国年の受給者数は、751万人となっている。

注．「国民年金受給者」については、旧法国民年金の受給者と新法基礎年金の受給者の合計であり、基礎年金受給者には被用者年金を上乗せして受給している者を含む。

表19 国民年金 受給者数の推移

(年度末現在、単位：万人)

| | 総数 | 老齢年金 ・25年以上 | 通算老齢年金 ・25年未満 | 障害年金 | 遺族年金 |
|--------|-------|----------------|------------------|-------|------|
| 平成28年度 | 3,386 | 3,132 | 54 | 189 | 10 |
| | (950) | (730) | (54) | (162) | (4) |
| | [851] | [636] | [54] | [157] | [3] |
| 29 | 3,484 | 3,190 | 92 | 192 | 10 |
| | (934) | (711) | (55) | (163) | (4) |
| | [832] | [614] | [55] | [159] | [3] |
| 30 | 3,529 | 3,230 | 94 | 196 | 10 |
| | (910) | (691) | (50) | (165) | (4) |
| | [804] | [590] | [50] | [161] | [3] |
| 令和元年度 | 3,565 | 3,262 | 93 | 199 | 9 |
| | (887) | (671) | (44) | (167) | (4) |
| | [777] | [567] | [44] | [163] | [3] |
| 2 | 3,596 | 3,290 | 93 | 204 | 9 |
| | (863) | (650) | (39) | (171) | (4) |
| | [751] | [543] | [39] | [166] | [3] |

- 注1．平成29年度以降は、新法基礎年金について老齢基礎年金の受給資格期間を原則として25年以上有するものは「老齢年金・25年以上」に、それ以外のは「通算老齢年金・25年未満」に計上している。
- 2．()内は、基礎のみ・旧国年の受給者について再掲したものである。ここで「基礎のみ」とは、同一の年金種別の厚生年金保険(第1号)(旧共済組合を除く)の受給権を有しない基礎年金受給者をいう。
- 3．[]内は、基礎のみ共済なし・旧国年の受給者について再掲したものである。ここで「基礎のみ共済なし」は「基礎のみ」の受給者のうち、共済組合等の組合員等たる厚生年金保険の被保険者期間(平成27年9月以前の共済組合等の組合員等の期間を含む)を有しない受給者の数である。

- 国民年金受給者の老齢年金の平均年金月額は、令和2年度末現在で5万6千円、令和2年度新規裁定者で5万4千円となっている。また、基礎のみ共済なし・旧国年の受給者の老齢年金の平均年金月額は、令和2年度末現在で5万1千円となっている。

表20 国民年金 受給者の平均年金月額の推移

(年度末現在、単位：円)

| | 老齢年金 ・25年以上 | | 通算老齢年金 ・25年未満 | 障害年金 | 遺族年金 |
|--------|--------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|
| | | 新規裁定 | | | |
| 平成28年度 | 55,464 (51,329) [49,906] | 52,337 (56,582) [54,343] | 18,880 (18,880) [18,880] | 72,453 (72,721) [72,763] | 82,404 (72,579) [68,781] |
| 29 | 55,615 (51,648) [50,186] | 49,907 (55,398) [52,146] | 19,091 (18,953) [18,952] | 72,245 (72,512) [72,554] | 82,932 (74,138) [70,635] |
| 30 | 55,809 (52,028) [50,520] | 53,568 (57,416) [54,614] | 19,064 (18,976) [18,974] | 72,109 (72,373) [72,415] | 83,208 (75,086) [71,789] |
| 令和元年度 | 56,049 (52,437) [50,875] | 53,905 (57,974) [54,917] | 19,126 (19,019) [19,015] | 72,042 (72,301) [72,341] | 83,644 (76,164) [73,079] |
| 2 | 56,358 (52,896) [51,276] | 54,410 (58,421) [55,253] | 19,282 (19,091) [19,084] | 72,039 (72,290) [72,329] | 84,173 (77,276) [74,351] |

- 注1．平成29年度以降は、新法基礎年金について老齢基礎年金の受給資格期間を原則として25年以上有するものは「老齢年金・25年以上」に、それ以外の場合は「通算老齢年金・25年未満」に計上している。
- 2．()内は、基礎のみ・旧国年の受給者について再掲したものである。ここで「基礎のみ」とは、同一の年金種別の厚生年金保険(第1号)(旧共済組合を除く)の受給権を有しない基礎年金受給者をいう。
- 3．[]内は、基礎のみ共済なし・旧国年の受給者について再掲したものである。ここで「基礎のみ共済なし」は「基礎のみ」の受給者のうち、共済組合等の組合員等たる厚生年金保険の被保険者期間(平成27年9月以前の共済組合等の組合員等の期間を含む)を有しない受給者の数である。

- 令和2年度末現在の国民年金受給権者数は、前年度末に比べて32万人（0.9%）増加し、3,660万人となっている。そのうち、基礎のみ共済なし・旧国年の受給権者数は、769万人となっている。

表21 国民年金 受給権者数の推移

(年度末現在、単位：万人)

| | 総数 | 老齢年金 ・25年以上 | 通算老齢年金 ・25年未満 | 障害年金 | 遺族年金 |
|--------|-------------------------|-------------------------|--------------------|-----------------------|------------------|
| 平成28年度 | 3,447 (972) [870] | 3,166 (737) [642] | 54 (54) [54] | 202 (172) [167] | 25 (9) [7] |
| 29 | 3,547 (956) [851] | 3,225 (718) [620] | 93 (56) [56] | 206 (174) [169] | 24 (8) [7] |
| 30 | 3,593 (932) [823] | 3,266 (698) [596] | 95 (50) [50] | 209 (176) [171] | 23 (8) [7] |
| 令和元年度 | 3,629 (908) [796] | 3,299 (678) [573] | 94 (45) [44] | 212 (178) [172] | 23 (8) [7] |
| 2 | 3,660 (884) [769] | 3,328 (656) [548] | 94 (39) [39] | 216 (180) [175] | 23 (8) [7] |

- 注1．平成29年度以降は、新法基礎年金について老齢基礎年金の受給資格期間を原則として25年以上有するものは「老齢年金・25年以上」に、それ以外の場合は「通算老齢年金・25年未満」に計上している。
- 2．（ ）内は、基礎のみ・旧国年の受給権者について再掲したものである。ここで「基礎のみ」とは、同一の年金種別の厚生年金保険（第1号）（旧共済組合を除く）の受給権を有しない基礎年金受給権者をいう。
- 3．[]内は、基礎のみ共済なし・旧国年の受給権者について再掲したものである。ここで「基礎のみ共済なし」は「基礎のみ」の受給権者のうち、共済組合等の組合員等たる厚生年金保険の被保険者期間（平成27年9月以前の共済組合等の組合員等の期間を含む）を有しない受給権者の数である。

- 国民年金受給権者の老齢年金の平均年金月額は、令和2年度末現在で5万6千円、令和2年度新規裁定者で5万4千円となっている。また、基礎のみ共済なし・旧国年の受給権者の老齢年金の平均年金月額は、令和2年度末現在で5万1千円となっている。

表22 国民年金 受給権者の平均年金月額の推移

(年度末現在、単位：円)

| | 老齢年金 ・25年以上 | | 通算老齢年金 ・25年未満 | 障害年金 | 遺族年金 |
|--------|----------------|----------|------------------|----------|----------|
| | | 新規裁定 | | | |
| 平成28年度 | 55,373 | 52,336 | 18,869 | 72,159 | 62,568 |
| | (51,221) | (56,575) | (18,869) | (72,459) | (58,266) |
| | [49,787] | [54,333] | [18,869] | [72,513] | [56,535] |
| 29 | 55,518 | 49,896 | 19,088 | 71,963 | 62,771 |
| | (51,528) | (55,359) | (18,937) | (72,256) | (59,000) |
| | [50,053] | [52,098] | [18,935] | [72,310] | [57,352] |
| 30 | 55,708 | 53,572 | 19,061 | 71,837 | 62,857 |
| | (51,901) | (57,414) | (18,957) | (72,127) | (59,398) |
| | [50,378] | [54,613] | [18,955] | [72,179] | [57,858] |
| 令和元年度 | 55,946 | 53,914 | 19,124 | 71,788 | 62,943 |
| | (52,302) | (57,972) | (18,998) | (72,070) | (59,755) |
| | [50,722] | [54,925] | [18,993] | [72,120] | [58,294] |
| 2 | 56,252 | 54,421 | 19,280 | 71,806 | 63,110 |
| | (52,752) | (58,420) | (19,067) | (72,078) | (60,183) |
| | [51,112] | [55,259] | [19,060] | [72,126] | [58,797] |

- 注1．平成29年度以降は、新法基礎年金について老齢基礎年金の受給資格期間を原則として25年以上有するものは「老齢年金・25年以上」に、それ以外のは「通算老齢年金・25年未満」に計上している。
- 2．()内は、基礎のみ・旧国年の受給権者について再掲したものである。ここで「基礎のみ」とは、同一の年金種別の厚生年金保険(第1号)(旧共済組合を除く)の受給権を有しない基礎年金受給権者をいう。
- 3．[]内は、基礎のみ共済なし・旧国年の受給権者について再掲したものである。ここで「基礎のみ共済なし」は「基礎のみ」の受給権者のうち、共済組合等の組合員等たる厚生年金保険の被保険者期間(平成27年9月以前の共済組合等の組合員等の期間を含む)を有しない受給権者の数である。

- 令和2年度末現在の国民年金受給者の年金総額は、前年度末に比べて3,470億円(1.4%)増加し、24兆3,212億円となっている。

表23 国民年金 受給者の年金総額の推移

(年度末現在、単位：億円)

| | 総数 | 老齢年金 ・25年以上 | 通算老齢年金 ・25年未満 | 障害年金 | 遺族年金 |
|--------|---------|----------------|------------------|--------|------|
| 平成28年度 | 227,156 | 208,481 | 1,224 | 16,454 | 997 |
| 29 | 232,642 | 212,882 | 2,104 | 16,684 | 972 |
| 30 | 236,380 | 216,343 | 2,141 | 16,938 | 958 |
| 令和元年度 | 239,742 | 219,423 | 2,146 | 17,235 | 939 |
| 2 | 243,212 | 222,529 | 2,148 | 17,613 | 923 |

- 令和2年度末現在の国民年金受給権者の年金総額は、前年度末に比べて3,467億円(1.4%)増加し、24兆7,137億円となっている。

表24 国民年金 受給権者の年金総額の推移

(年度末現在、単位：億円)

| | 総数 | 老齢年金 ・25年以上 | 通算老齢年金 ・25年未満 | 障害年金 | 遺族年金 |
|--------|---------|----------------|------------------|--------|-------|
| 平成28年度 | 230,966 | 210,352 | 1,227 | 17,533 | 1,853 |
| 29 | 236,514 | 214,839 | 2,124 | 17,753 | 1,799 |
| 30 | 240,297 | 218,361 | 2,162 | 18,002 | 1,772 |
| 令和元年度 | 243,670 | 221,494 | 2,167 | 18,269 | 1,740 |
| 2 | 247,137 | 224,660 | 2,170 | 18,595 | 1,712 |

- 老齢基礎年金の平均年金月額は、令和2年度末現在で5万7千円となっている。

表25 老齢基礎年金（25年以上）受給者状況の推移

（年度末現在、単位：万人、円）

| | 総 数 | | 繰 上 げ | | 本 来 | | 繰 下 げ | |
|--------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|
| | 受給者数 | 平均年金月額 | 受給者数 | 平均年金月額 | 受給者数 | 平均年金月額 | 受給者数 | 平均年金月額 |
| 平成28年度 | 3,056 | 55,831 | 393 | 43,067 | 2,623 | 57,416 | 40 | 77,270 |
| 29 | 3,125 | 55,918 | 387 | 43,268 | 2,696 | 57,410 | 42 | 76,655 |
| 30 | 3,177 | 56,058 | 380 | 43,479 | 2,752 | 57,466 | 45 | 76,274 |
| 令和元年度 | 3,218 | 56,256 | 373 | 43,665 | 2,796 | 57,592 | 49 | 75,896 |
| 2 | 3,254 | 56,529 | 364 | 43,892 | 2,835 | 57,783 | 55 | 75,723 |

注． 老齢基礎年金の受給資格期間を原則として25年以上有する受給者を計上している。

- 国民年金（5年年金を除く）の受給権者は、繰上げ率が年々低下している。
- 基礎のみ・旧国年の受給権者の繰上げ率は、令和2年度末現在で28.2%、繰下げ率は、令和2年度末現在で1.7%となっている。

表26 国民年金 受給権者の繰上げ・繰下げ受給状況の推移

(年度末現在、単位：人、%)

| | 総 数 | 繰 上 げ | | 本 来 | | 繰 下 げ | |
|--------|------------|-----------|------|------------|------|---------|-----|
| | | | 受給率 | | 受給率 | | 受給率 |
| 平成28年度 | 32,184,024 | 4,662,578 | 14.5 | 27,120,664 | 84.3 | 400,782 | 1.2 |
| 29 | 33,160,232 | 4,498,287 | 13.6 | 28,236,857 | 85.2 | 425,088 | 1.3 |
| 30 | 33,595,353 | 4,325,746 | 12.9 | 28,816,627 | 85.8 | 452,980 | 1.3 |
| 令和元年度 | 33,922,246 | 4,162,552 | 12.3 | 29,266,840 | 86.3 | 492,854 | 1.5 |
| 2 | 34,205,625 | 4,004,279 | 11.7 | 29,648,008 | 86.7 | 553,338 | 1.6 |

| | (再掲) 基礎のみ・旧国年 | 繰 上 げ | | 本 来 | | 繰 下 げ | |
|--------|------------------|-----------|------|-----------|------|---------|-----|
| | | | 受給率 | | 受給率 | | 受給率 |
| 平成28年度 | 7,351,368 | 2,507,158 | 34.1 | 4,740,044 | 64.5 | 104,166 | 1.4 |
| 29 | 7,253,891 | 2,341,099 | 32.3 | 4,807,065 | 66.3 | 105,727 | 1.5 |
| 30 | 7,066,960 | 2,178,571 | 30.8 | 4,780,940 | 67.7 | 107,449 | 1.5 |
| 令和元年度 | 6,877,623 | 2,030,216 | 29.5 | 4,737,113 | 68.9 | 110,294 | 1.6 |
| 2 | 6,671,038 | 1,884,004 | 28.2 | 4,672,583 | 70.0 | 114,451 | 1.7 |

注1. 旧法老齢年金（5年年金を除く）・旧法通算老齢年金の受給権者と新法老齢基礎年金の受給権者を対象としている。

注2. 「基礎のみ・旧国年」は、同一の年金種別の厚生年金保険（第1号）（旧共済組合を除く）の受給権を有しない老齢基礎年金の受給権者及び旧法老齢年金（5年年金を除く）の受給権者を対象としている。

- 受給開始時期の選択を終了した、年度末時点で70歳の老齢基礎年金受給権者の繰上げ・繰下げ状況をみると、繰上げ率が低下傾向にある。
- 年度末時点で70歳の基礎のみの受給権者の繰上げ率は、令和2年度末現在で16.8%、繰下げ率は、令和2年度末現在で2.6%となっている。

表27 国民年金 70歳の繰上げ・繰下げ受給状況の推移

(年度末現在、単位：人、%)

| | 総数 | 繰上げ | | 本来 | | 繰下げ | |
|--------|-----------|---------|-----|-----------|------|--------|-----|
| | | 繰上げ | 受給率 | 本来 | 受給率 | 繰下げ | 受給率 |
| 平成28年度 | 1,560,487 | 152,138 | 9.7 | 1,389,967 | 89.1 | 18,382 | 1.2 |
| 29 | 2,049,594 | 192,995 | 9.4 | 1,830,042 | 89.3 | 26,557 | 1.3 |
| 30 | 1,999,795 | 183,400 | 9.2 | 1,787,573 | 89.4 | 28,822 | 1.4 |
| 令和元年度 | 1,953,531 | 179,309 | 9.2 | 1,737,634 | 88.9 | 36,588 | 1.9 |
| 2 | 1,774,301 | 156,611 | 8.8 | 1,579,524 | 89.0 | 38,166 | 2.2 |

| | (再掲) 基礎のみ | 繰上げ | | 本来 | | 繰下げ | |
|--------|--------------|--------|------|---------|------|-------|-----|
| | | 繰上げ | 受給率 | 本来 | 受給率 | 繰下げ | 受給率 |
| 平成28年度 | 208,281 | 42,749 | 20.5 | 162,622 | 78.1 | 2,910 | 1.4 |
| 29 | 262,197 | 51,709 | 19.7 | 206,667 | 78.8 | 3,821 | 1.5 |
| 30 | 234,034 | 44,007 | 18.8 | 186,014 | 79.5 | 4,013 | 1.7 |
| 令和元年度 | 216,063 | 38,063 | 17.6 | 173,218 | 80.2 | 4,782 | 2.2 |
| 2 | 193,846 | 32,474 | 16.8 | 156,402 | 80.7 | 4,970 | 2.6 |

- 注1 . 70歳の老齢基礎年金受給権者を対象としている。
- 注2 . 「基礎のみ」とは、同一の年金種別の厚生年金保険（第1号）（旧共済組合を除く）の受給権を有しない基礎年金受給権者をいう。
- 注3 . 受給開始時期の選択を終了した、年度末時点で70歳の繰上げ・繰下げ状況である。

(参考資料1)

都道府県別老齢年金受給者数及び平均年金月額

(令和2年度末現在)

| 都道府県 | 厚生年金保険(第1号) | | 国民年金 | |
|------|-------------|---------|------------|--------|
| | 受給者数 | 平均年金月額 | 受給者数 | 平均年金月額 |
| | 人 | 円 | 人 | 円 |
| 全 国 | 15,529,535 | 146,145 | 32,903,946 | 56,358 |
| 北海道 | 631,133 | 136,270 | 1,515,875 | 55,389 |
| 青森県 | 145,045 | 122,189 | 388,838 | 53,688 |
| 岩手県 | 171,967 | 126,274 | 386,405 | 57,187 |
| 宮城県 | 282,547 | 139,269 | 606,235 | 56,053 |
| 秋田県 | 150,985 | 122,695 | 341,768 | 55,587 |
| 山形県 | 172,413 | 124,286 | 345,905 | 57,195 |
| 福島県 | 272,539 | 129,892 | 549,338 | 56,423 |
| 茨城県 | 345,943 | 147,359 | 782,268 | 56,019 |
| 栃木県 | 247,091 | 143,000 | 527,520 | 56,170 |
| 群馬県 | 252,929 | 142,705 | 545,078 | 57,337 |
| 埼玉県 | 826,872 | 157,022 | 1,783,208 | 55,845 |
| 千葉県 | 711,832 | 160,817 | 1,579,991 | 56,190 |
| 東京都 | 1,246,441 | 159,393 | 2,773,663 | 55,263 |
| 神奈川県 | 1,006,358 | 166,270 | 2,111,746 | 56,286 |
| 新潟県 | 368,801 | 132,235 | 682,163 | 58,525 |
| 富山県 | 188,434 | 138,863 | 318,003 | 59,949 |
| 石川県 | 170,314 | 136,402 | 313,410 | 58,934 |
| 福井県 | 133,346 | 134,344 | 220,691 | 59,234 |
| 山梨県 | 101,463 | 138,669 | 235,853 | 55,854 |
| 長野県 | 330,177 | 138,563 | 620,587 | 58,954 |
| 岐阜県 | 269,270 | 144,728 | 567,467 | 58,207 |
| 静岡県 | 543,834 | 146,170 | 1,039,792 | 58,055 |
| 愛知県 | 866,419 | 155,471 | 1,763,919 | 56,969 |
| 三重県 | 247,960 | 146,410 | 499,504 | 58,413 |
| 滋賀県 | 184,844 | 149,266 | 353,684 | 58,146 |
| 京都府 | 307,243 | 147,632 | 673,755 | 55,312 |
| 大阪府 | 967,988 | 152,340 | 2,099,824 | 54,247 |
| 兵庫県 | 684,088 | 155,005 | 1,443,644 | 56,184 |
| 奈良県 | 164,346 | 158,796 | 391,806 | 55,881 |
| 和歌山県 | 113,255 | 141,774 | 287,453 | 54,642 |
| 鳥取県 | 92,140 | 127,306 | 166,589 | 58,498 |
| 島根県 | 117,992 | 127,742 | 215,262 | 59,169 |
| 岡山県 | 290,925 | 140,741 | 531,965 | 58,810 |
| 広島県 | 402,528 | 145,834 | 762,841 | 58,133 |
| 山口県 | 217,435 | 143,526 | 435,485 | 58,224 |
| 徳島県 | 110,187 | 127,990 | 222,471 | 55,769 |
| 香川県 | 151,308 | 138,568 | 285,150 | 58,938 |
| 愛媛県 | 189,857 | 134,836 | 413,639 | 56,755 |
| 高知県 | 102,151 | 127,009 | 224,395 | 55,038 |
| 福岡県 | 623,000 | 140,695 | 1,277,793 | 55,384 |
| 佐賀県 | 110,364 | 128,115 | 232,284 | 58,056 |
| 長崎県 | 172,391 | 132,258 | 401,651 | 55,474 |
| 熊本県 | 222,649 | 126,561 | 509,085 | 56,788 |
| 大分県 | 158,057 | 130,962 | 345,504 | 55,312 |
| 宮崎県 | 143,841 | 123,098 | 322,298 | 56,404 |
| 鹿児島県 | 205,601 | 127,047 | 477,337 | 56,693 |
| 沖縄県 | 100,803 | 124,197 | 292,059 | 52,206 |
| その他 | 12,429 | 129,487 | 38,745 | 29,478 |

注1. 新法老齢厚生年金については、旧法の老齢年金に相当するものを「老齢年金」としている。新法退職共済年金についても同様。

2. 厚生年金保険(第1号)の平均年金月額には、基礎年金月額を含む。

3. 国民年金については、旧法老齢年金の受給者と新法老齢基礎年金の受給者(受給資格期間を原則として25年以上有する者)の合計であり、老齢基礎年金受給者には、被用者年金を上乗せして受給している者を含む。

(参考資料2)

65歳未満の厚生年金保険（第1号）の受給権者は、特別支給の老齢厚生年金の定額部分の支給開始年齢の引上げにより、主に定額部分のない、報酬比例部分のみの者であること、また、65歳未満の国民年金の受給権者は、繰上げ支給を選択した者であることに留意が必要である。

年齢別老齢年金受給権者数及び平均年金月額

(令和2年度末現在)

| 年 齢 | 厚生年金保険（第1号） | | 国民年金 | |
|-------|-----------------|--------------|-----------------|-------------|
| | 受給権者数 | 平均年金月額 | 受給権者数 | 平均年金月額 |
| 合 計 | 16,100,133 人 | 144,366 円 | 33,281,594 人 | 56,252 円 |
| 60 | 4,945 | 90,838 | 11,982 | 39,019 |
| 61 | 112,357 | 59,575 | 29,160 | 40,594 |
| 62 | 142,236 | 60,436 | 39,064 | 41,689 |
| 63 | 452,553 | 78,770 | 54,421 | 42,881 |
| 64 | 567,743 | 80,636 | 68,045 | 43,513 |
| 小 計 | 1,279,834 | 75,922 | 202,672 | 42,306 |
| 65 | 589,751 | 145,337 | 1,115,761 | 57,919 |
| 66 | 663,955 | 145,703 | 1,302,237 | 57,737 |
| 67 | 707,861 | 143,386 | 1,387,578 | 57,569 |
| 68 | 764,201 | 141,979 | 1,489,726 | 57,272 |
| 69 | 817,229 | 140,036 | 1,573,954 | 57,169 |
| 小 計 | 3,542,997 | 143,069 | 6,869,256 | 57,502 |
| 70 | 848,754 | 143,775 | 1,723,848 | 57,234 |
| 71 | 879,833 | 147,105 | 1,889,928 | 57,153 |
| 72 | 888,658 | 146,331 | 1,916,850 | 57,066 |
| 73 | 896,622 | 145,724 | 1,944,869 | 56,874 |
| 74 | 697,164 | 145,467 | 1,489,005 | 56,675 |
| 小 計 | 4,211,031 | 145,705 | 8,964,500 | 57,010 |
| 75 | 482,420 | 147,519 | 1,035,665 | 56,235 |
| 76 | 588,844 | 148,172 | 1,287,937 | 56,204 |
| 77 | 641,788 | 149,924 | 1,418,765 | 55,881 |
| 78 | 596,689 | 152,159 | 1,327,571 | 55,651 |
| 79 | 602,257 | 154,467 | 1,363,845 | 55,525 |
| 小 計 | 2,911,998 | 150,569 | 6,433,783 | 55,880 |
| 80 | 526,214 | 157,097 | 1,225,487 | 57,241 |
| 81 | 447,083 | 158,604 | 1,053,521 | 57,024 |
| 82 | 395,666 | 160,356 | 942,093 | 56,866 |
| 83 | 419,389 | 160,851 | 1,027,025 | 56,876 |
| 84 | 370,774 | 161,719 | 939,016 | 56,464 |
| 小 計 | 2,159,126 | 159,529 | 5,187,142 | 56,916 |
| 85 | 347,487 | 162,711 | 905,704 | 56,321 |
| 86 | 289,107 | 162,887 | 789,738 | 56,067 |
| 87 | 249,805 | 161,929 | 707,218 | 55,643 |
| 88 | 226,773 | 162,660 | 668,139 | 55,132 |
| 89 | 183,779 | 163,514 | 562,948 | 54,498 |
| 小 計 | 1,296,951 | 162,705 | 3,633,747 | 55,633 |
| 90歳以上 | 698,196 | 161,506 | 1,990,494 | 50,554 |

注1．新法老齢厚生年金については、旧法の老齢年金に相当するものを「老齢年金」としている。新法退職共済年金についても同様。

2．厚生年金保険（第1号）の平均年金月額には、基礎年金月額を含む。

3．国民年金については、旧法老齢年金の受給権者と新法老齢基礎年金の受給権者（受給資格期間を原則として25年以上有する者）の合計であり、老齢基礎年金受給権者には、被用者年金が上乘せされている者を含む。

(参考資料3)

厚生年金保険（第1号）の受給権者には、特別支給の老齢厚生年金の定額部分の支給開始年齢の引上げにより、定額部分のない、報酬比例部分のみの65歳未満の受給権者が含まれていることに留意が必要である。

厚生年金保険（第1号） 男女別年金月額階級別老齢年金受給権者数

(令和2年度末現在)

| 年金月額 | 総数 | | |
|-----------|------------|------------|-----------|
| | 男子 | 女子 | |
| 合計 | 16,100,133 | 10,716,244 | 5,383,889 |
| 万円以上 万円未満 | | | |
| ～ 1 | 100,511 | 72,507 | 28,004 |
| 1 ～ 2 | 18,955 | 12,071 | 6,884 |
| 2 ～ 3 | 66,662 | 5,395 | 61,267 |
| 3 ～ 4 | 119,711 | 10,170 | 109,541 |
| 4 ～ 5 | 125,655 | 30,714 | 94,941 |
| 5 ～ 6 | 170,627 | 67,421 | 103,206 |
| 6 ～ 7 | 401,175 | 163,063 | 238,112 |
| 7 ～ 8 | 694,015 | 244,810 | 449,205 |
| 8 ～ 9 | 934,792 | 242,657 | 692,135 |
| 9 ～ 10 | 1,125,260 | 273,243 | 852,017 |
| 10 ～ 11 | 1,119,158 | 350,350 | 768,808 |
| 11 ～ 12 | 1,018,423 | 438,683 | 579,740 |
| 12 ～ 13 | 926,094 | 518,659 | 407,435 |
| 13 ～ 14 | 897,027 | 608,992 | 288,035 |
| 14 ～ 15 | 913,347 | 704,371 | 208,976 |
| 15 ～ 16 | 945,950 | 793,583 | 152,367 |
| 16 ～ 17 | 994,107 | 884,219 | 109,888 |
| 17 ～ 18 | 1,024,472 | 948,543 | 75,929 |
| 18 ～ 19 | 994,193 | 942,288 | 51,905 |
| 19 ～ 20 | 916,505 | 879,047 | 37,458 |
| 20 ～ 21 | 781,979 | 757,129 | 24,850 |
| 21 ～ 22 | 607,141 | 590,345 | 16,796 |
| 22 ～ 23 | 425,171 | 414,195 | 10,976 |
| 23 ～ 24 | 289,599 | 282,665 | 6,934 |
| 24 ～ 25 | 194,014 | 190,063 | 3,951 |
| 25 ～ 26 | 123,614 | 121,426 | 2,188 |
| 26 ～ 27 | 76,292 | 75,194 | 1,098 |
| 27 ～ 28 | 45,063 | 44,547 | 516 |
| 28 ～ 29 | 22,949 | 22,741 | 208 |
| 29 ～ 30 | 10,951 | 10,807 | 144 |
| 30 ～ | 16,721 | 16,346 | 375 |
| 平均年金月額 | 円 144,366 | 円 164,742 | 円 103,808 |

注1. 新法老齢厚生年金については、旧法の老齢年金に相当するものを「老齢年金」としている。新法退職共済年金についても同様。

2. 平均年金月額には、基礎年金月額を含む。

3. 本表においては、

- ・厚生年金保険（第1号）の受給権者には、特別支給の老齢厚生年金の定額部分の支給開始年齢の引上げにより、定額部分のない、報酬比例部分のみの65歳未満の受給権者が含まれていること
- ・老齢年金には、共済組合等の組合員等たる厚生年金保険の被保険者期間（平成27年9月以前の共済組合等の組合員等の期間を含む）を含めて該当した者もいるが、これらの者の年金月額には共済組合等から支給される分が含まれていないことに留意が必要である。

(参考資料4)

国民年金 男女別年金月額階級別老齢年金受給権者数

(令和2年度末現在)

| 年金月額 | 総数 | | | (再掲)基礎のみ・旧国年(5年年金除く) | | | (再掲)基礎のみ共済なし・旧国年(5年年金除く) | | |
|--------|------------|------------|------------|----------------------|-----------|-----------|--------------------------|-----------|-----------|
| | 計 | 男子 | 女子 | 計 | 男子 | 女子 | 計 | 男子 | 女子 |
| 合計 | 33,281,594 | 14,453,993 | 18,827,601 | 6,551,100 | 1,585,736 | 4,965,364 | 5,470,422 | 1,020,597 | 4,449,825 |
| 万円以上 | | | | | | | | | |
| 万円未満 | | | | | | | | | |
| ～ 1 | 74,554 | 12,467 | 62,087 | 32,774 | 1,616 | 31,158 | 32,405 | 1,432 | 30,973 |
| 1 ～ 2 | 293,600 | 58,554 | 235,046 | 107,707 | 10,557 | 97,150 | 106,685 | 10,010 | 96,675 |
| 2 ～ 3 | 928,755 | 216,991 | 711,764 | 313,589 | 38,774 | 274,815 | 310,935 | 37,582 | 273,353 |
| 3 ～ 4 | 2,842,021 | 681,950 | 2,160,071 | 1,061,606 | 153,616 | 907,990 | 1,051,134 | 149,422 | 901,712 |
| 4 ～ 5 | 4,663,638 | 1,341,815 | 3,321,823 | 1,074,088 | 227,574 | 846,514 | 1,009,237 | 194,372 | 814,865 |
| 5 ～ 6 | 7,760,979 | 3,139,242 | 4,621,737 | 1,372,679 | 334,084 | 1,038,595 | 1,117,970 | 190,829 | 927,141 |
| 6 ～ 7 | 14,835,773 | 8,594,057 | 6,241,716 | 2,082,802 | 712,749 | 1,370,053 | 1,365,032 | 339,260 | 1,025,772 |
| 7 ～ | 1,882,274 | 408,917 | 1,473,357 | 505,855 | 106,766 | 399,089 | 477,024 | 97,690 | 379,334 |
| 平均年金月額 | 56,252 | 59,040 | 54,112 | 52,792 | 56,748 | 51,529 | 51,156 | 54,338 | 50,426 |

- 注1. 旧法老齢年金の受給権者と新法老齢基礎年金の受給権者(受給資格期間を原則として25年以上有する者)の合計であり、老齢基礎年金受給権者には、被用者年金が上乘せされている者を含む。
2. 「基礎のみ・旧国年(5年年金除く)」とは、同一の年金種別の厚生年金保険(第1号)(旧共済組合を除く)の受給権を有しない老齢基礎年金受給権者及び旧法国民年金(5年年金除く)の受給権者をいう。
3. 「基礎のみ共済なし」とは「基礎のみ」の受給権者のうち、共済組合等の組合員等たる厚生年金保険の被保険者期間(平成27年9月以前の共済組合等の組合員等の期間を含む)を有しない受給権者の数である。

(参考資料5)

(参考) 男女別年金月額階級別通算老齢年金・25年未満受給権者数

【厚生年金保険（第1号）】

(令和2年度末現在)

| 年金月額 | 総数 | | |
|-----------|-----------|------------|------------|
| | 男子 | 女子 | 合計 |
| 合計 | 3,719,629 | 11,180,884 | 14,900,513 |
| 万円以上 万円未満 | | | |
| ～ 1 | 53,424 | 822,388 | 875,812 |
| 1 ～ 2 | 89,376 | 579,916 | 669,292 |
| 2 ～ 3 | 132,698 | 461,869 | 594,567 |
| 3 ～ 4 | 185,397 | 565,846 | 751,243 |
| 4 ～ 5 | 265,449 | 981,026 | 1,246,475 |
| 5 ～ 6 | 354,280 | 1,547,052 | 1,901,332 |
| 6 ～ 7 | 608,975 | 2,118,711 | 2,727,686 |
| 7 ～ 8 | 676,209 | 2,117,281 | 2,793,490 |
| 8 ～ 9 | 535,815 | 1,256,050 | 1,791,865 |
| 9 ～ 10 | 369,352 | 488,363 | 857,715 |
| 10 ～ | 448,654 | 242,382 | 691,036 |
| 平均年金月額 | 71,374 | 58,142 | 61,445 |

- 注1. 通算老齢年金・25年未満の受給権者数を計上しており、新法老齢厚生年金については、旧法の老齢年金に相当するもの以外を「通算老齢年金・25年未満」としている。新法退職共済年金についても同様。
2. 平均年金月額には、基礎年金月額を含む。
3. 厚生年金保険（第1号）の受給権者には、特別支給の老齢厚生年金の定額部分の支給開始年齢の引上げにより、定額部分のない、報酬比例部分のみの65歳未満の受給権者が含まれていること、また、年金月額には共済組合等から支給される分が含まれていないことに留意が必要である。

【国民年金】

(令和2年度末現在)

| 年金月額 | 総数 | | | | | | | | |
|-----------|---------|---------|---------|--------------|--------|---------|------------------|--------|---------|
| | | | | (再掲)基礎のみ・旧国年 | | | (再掲)基礎のみ共済なし・旧国年 | | |
| | 計 | 男子 | 女子 | 計 | 男子 | 女子 | 計 | 男子 | 女子 |
| 合計 | 937,847 | 382,469 | 555,378 | 393,323 | 74,012 | 319,311 | 392,033 | 73,168 | 318,865 |
| 万円以上 万円未満 | | | | | | | | | |
| ～ 1 | 148,760 | 43,296 | 105,464 | 82,604 | 15,379 | 67,225 | 82,503 | 15,311 | 67,192 |
| 1 ～ 2 | 381,345 | 158,934 | 222,411 | 144,596 | 27,037 | 117,559 | 144,069 | 26,669 | 117,400 |
| 2 ～ 3 | 286,076 | 133,012 | 153,064 | 105,021 | 19,322 | 85,699 | 104,587 | 19,037 | 85,550 |
| 3 ～ 4 | 101,338 | 42,839 | 58,499 | 45,526 | 9,673 | 35,853 | 45,314 | 9,554 | 35,760 |
| 4 ～ 5 | 18,999 | 4,111 | 14,888 | 14,507 | 2,377 | 12,130 | 14,492 | 2,373 | 12,119 |
| 5 ～ | 1,329 | 277 | 1,052 | 1,069 | 224 | 845 | 1,068 | 224 | 844 |
| 平均年金月額 | 19,280 | 19,962 | 18,811 | 19,067 | 19,263 | 19,021 | 19,060 | 19,248 | 19,016 |

- 注1. 旧法通算老齢年金の受給権者と新法老齢基礎年金の受給権者（受給資格期間が原則として25年未満の者）の合計であり、老齢基礎年金受給権者には、被用者年金が上乘せされている者を含む。
2. 「基礎のみ・旧国年」とは、同一の年金種別の厚生年金保険（第1号）（旧共済組合を除く）の受給権を有しない老齢基礎年金受給権者及び旧法国民年金の受給権者をいう。
3. 「基礎のみ共済なし」とは「基礎のみ」の受給権者のうち、共済組合等の組合員等たる厚生年金保険の被保険者期間（平成27年9月以前の共済組合等の組合員等の期間を含む）を有しない受給権者の数である。

(参考資料6)

厚生年金保険（第1号）における離婚等に伴う年金分割の状況
離婚等に伴う保険料納付記録分割件数の推移

| | 総数（件） | 【参考】 | |
|--------|--------|--------|--------|
| | | 離婚分割 | 3号分割のみ |
| 平成28年度 | 26,682 | 21,946 | 4,736 |
| 29 | 26,063 | 20,479 | 5,584 |
| 30 | 28,793 | 21,841 | 6,952 |
| 令和元年度 | 29,391 | 21,485 | 7,906 |
| 2 | 29,781 | 20,695 | 9,086 |

- 注1. 離婚分割とは、離婚等をした場合に、当事者の合意又は裁判所の決定により、婚姻期間中の厚生年金保険料納付記録の分割を行うことをいう。
 2. 3号分割とは、離婚等をした場合に、婚姻期間中（平成20年4月以後）の第3号被保険者期間に係る厚生年金保険料納付記録の分割を行うことをいう。
 3. 離婚分割による保険料納付記録分割件数には、離婚分割かつ3号分割を行った件数を含む。
 4. 離婚件数は、「人口動態統計速報」（厚生労働省政策統括官付参事官付人口動態・保健社会統計室）による年度累計である。

離婚分割 受給権者の分割改定前後の平均年金月額等の推移

| | 第1号改定者 | | | | 第2号改定者 | | | |
|--------|--------|-----------|---------|----------|--------|-----------|--------|--------|
| | 件数（人） | 平均年金月額（円） | | | 件数（人） | 平均年金月額（円） | | |
| | | 改定前 | 改定後 | 変動差 | | 改定前 | 改定後 | 変動差 |
| 平成28年度 | 3,038 | 140,123 | 109,620 | △ 30,503 | 2,604 | 48,546 | 80,513 | 31,967 |
| 29 | 2,805 | 142,713 | 111,892 | △ 30,821 | 2,510 | 49,741 | 80,799 | 31,058 |
| 30 | 2,862 | 143,208 | 112,272 | △ 30,937 | 2,546 | 51,436 | 82,701 | 31,265 |
| 令和元年度 | 2,982 | 143,162 | 114,025 | △ 29,137 | 2,481 | 53,405 | 84,056 | 30,651 |
| 2 | 2,310 | 145,061 | 115,963 | △ 29,098 | 2,070 | 51,585 | 82,358 | 30,774 |

- 注1. 第1号改定者とは、納付記録の分割をした者のことをいい、第2号改定者とは、納付記録の分割を受けた者のことをいう。
 2. 平均年金月額は、基礎年金が裁定されている場合には基礎年金月額を含む。また、離婚分割かつ3号分割を行った場合には、3号分割に係る改定額を含む。

3号分割のみ 受給権者の分割改定前後の平均年金月額等の推移

| | 男子 | | | | 女子 | | | |
|--------|-------|-----------|---------|---------|-------|-----------|--------|-------|
| | 件数（人） | 平均年金月額（円） | | | 件数（人） | 平均年金月額（円） | | |
| | | 改定前 | 改定後 | 変動差 | | 改定前 | 改定後 | 変動差 |
| 平成28年度 | 148 | 125,020 | 120,415 | △ 4,605 | 101 | 28,651 | 33,845 | 5,194 |
| 29 | 169 | 130,401 | 128,383 | △ 2,018 | 115 | 32,989 | 37,702 | 4,713 |
| 30 | 245 | 128,935 | 122,545 | △ 6,390 | 158 | 34,434 | 39,499 | 5,065 |
| 令和元年度 | 294 | 131,592 | 125,542 | △ 6,049 | 187 | 37,159 | 42,248 | 5,089 |
| 2 | 341 | 136,494 | 131,163 | △ 5,330 | 249 | 40,945 | 46,895 | 5,950 |

注. 平均年金月額は、基礎年金が裁定されている場合には基礎年金月額を含む。

例 言

厚生年金保険被保険者

厚生年金保険被保険者については、平成 27 年 10 月 1 日から被用者年金制度の一元化等を図るための厚生年金保険法等の一部を改正する法律が施行されたことに伴い、厚生年金保険法第 2 条の 5 の規定に基づき、以下のように分類している。

①第 1 号厚生年金被保険者

第 2 号厚生年金被保険者、第 3 号厚生年金被保険者及び第 4 号厚生年金被保険者以外の厚生年金保険の被保険者をいう。

②第 2 号厚生年金被保険者

国家公務員共済組合の組合員である厚生年金保険の被保険者をいう。

③第 3 号厚生年金被保険者

地方公務員共済組合の組合員である厚生年金保険の被保険者をいう。

④第 4 号厚生年金被保険者

私立学校教職員共済法の規定による私立学校教職員共済制度の加入者である厚生年金保険の被保険者をいう。

厚生年金保険（第 1 号）

この統計において、被保険者として使用する場合は、平成 26 年度以前は厚生年金保険被保険者を、平成 27 年度以降は第 1 号厚生年金被保険者をいう。

この統計において、受給（権）者として使用する場合は、厚生年金保険受給（権）者全体から、共済組合等の組合員等たる厚生年金保険の被保険者期間（平成 27 年 9 月以前の共済組合等の組合員等の期間を含む）のみの者を除き、さらに、障害厚生年金受給（権）者及び短期要件分の遺族厚生年金受給（権）者について、それぞれ初診日又は死亡日に共済組合等の組合員等であった者を除いた者をいう。

短時間労働者

1 週間の所定労働時間又は 1 月間の所定労働日数が通常の労働者の 4 分の 3 未満であり、以下の要件を満たす厚生年金保険被保険者をいう。

① 1 週間の所定労働時間が 20 時間以上であること。

② 雇用期間が 1 年以上見込まれること。

③ 賃金の月額が 8.8 万円以上であること。

④ 学生でないこと。

⑤ 以下のいずれかに該当すること

ア. 国、地方公共団体又は従業員数が 501 人以上の会社で働いている。

イ. 従業員数が 500 人以下の会社で働いていて、社会保険に加入することについて労使で合意がなされている。

なお、この統計においては、⑤のアに該当する短時間労働者を「強制加入」、⑤のイに該当する短時間労働者を「任意加入」としている。

新法・旧法

昭和 60 年に国民年金法等の一部が改正され、昭和 61 年 4 月 1 日から施行されたことに伴い、基礎年金制度などの新しい年金制度が導入された。この統計においては、昭和 60 年改正前の法律に基づくものを「旧法」、改正後の法律に基づくものを「新法」という。

新規裁定

当該年度中に新たに裁定され、年金受給権を得た者が対象であり、年金額については裁定された時点で決定された年金額（年額）となっている。

なお、特別支給の老齢厚生年金の受給権者が 65 歳に到達した日以降、老齢基礎年金及び老齢厚生年金（本来支給もしくは繰下げ支給）を受給するようになった場合は、老齢基礎年金及び老齢厚生年金（本来支給もしくは繰下げ支給）ともに新規裁定には計上していない。

受給権者

年金を受ける権利を持っていて、本人の請求により裁定された者をいう。これには全額支給停止されている者も含む。

受給者

受給権者のうち、全額支給停止されていない者をいう。

年金総額

ある時点においてとらえた受給権者又は受給者について、その時点で決定済の年金額（年額）である。また、受給者の年金額には一部支給停止されている金額も含んでいる。

ただし、昭和 16 年 4 月 2 日以降生まれの特別支給の老齢厚生年金受給権者のうち、老齢基礎年金を全額繰り上げた者の年金額には、定額部分の停止額を含まない。

平均年金月額

年金総額を受給権者数又は受給者数で除することにより平均年金額を求め、これを 12 で除した金額をいう。

厚生年金保険においては、特に断りがなにかぎり、厚生年金基金代行分及び新法厚生年金保険と併給される基礎年金額が含まれている。

厚生年金の年金種別

給付の種類については、以下のように分類して、統計を作成している。

| 年金の種別 | 旧法厚生年金保険 | 旧法船員保険 | 新法厚生年金保険 | 旧法旧共済組合 | 新法旧共済組合 |
|-------------------|------------------|------------------|------------------|----------------|---------|
| 老齢給付 | | | | | |
| 老齢年金 | 老齢年金 | 老齢年金 (養老年金) | 老齢厚生年金 | 退職年金 減額退職年金 | 退職共済年金 |
| 通算老齢年金 ・ 25年未満 | 通算老齢年金 特例老齢年金 | 通算老齢年金 特例老齢年金 | 特例老齢年金 | 通算退職年金 | 通算退職年金 |
| 障害年金（障害給付） | 障害年金 | 障害年金 | 障害厚生年金 | 障害年金 | 障害共済年金 |
| 遺族給付 | | | | | |
| 遺族年金 | 遺族年金 | 遺族年金 | 遺族厚生年金 特例遺族年金 | 遺族年金 | 遺族共済年金 |
| 通算遺族年金 | 通算遺族年金 特例遺族年金 | 通算遺族年金 特例遺族年金 | | 通算遺族年金 | |

注. 平成27年度以降の新法厚生年金保険の受給（権）者は、厚生年金保険（第1号）の受給（権）者について、統計を作成している。

国民年金の年金種別

給付の種類については、以下のように分類して、統計を作成している。

| 年金種別 | 旧法拠出制 | 基礎年金 |
|------------------|------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 老齢給付 | | |
| 老齢年金 ・25年以上 | 老齢年金 (特例支給、5年年金・10年年金を含む) | 老齢基礎年金 <div style="display: inline-block; vertical-align: middle;"> } 25年以上 25年未満 </div> |
| 通算老齢年金 ・25年未満 | 通算老齢年金 | |
| 障害年金 | 障害年金 | 障害基礎年金 |
| 遺族年金 | 寡婦年金・母子年金・準母子年金・遺児年金 | 遺族基礎年金 |

注. 寡婦年金については、新法においても存続しているが、国民年金第1号被保険者であった夫の妻のみに対して適用され、基礎年金一律の給付ではないため、新法分も便宜上旧法拠出制に計上している。

(旧法における) 老齢年金

- ① 旧法厚生年金保険の年金であり、原則として、被保険者期間が20年以上（中高齢特例に該当する場合は15年以上）ある者が60歳から支給される年金をいう。
- ② 旧法国民年金の年金であり、原則として、保険料納付済期間と保険料免除期間を合算した期間が25年以上ある者が65歳から支給される年金をいう。

(旧法における) 通算老齢年金

旧法厚生年金保険及び旧法国民年金の年金であり、いくつかの年金制度に加入した者が、各年金制度の加入期間を合計（通算）して一定期間以上ある場合に、各制度からそれぞれの加入期間に応じて支給される年金をいう。なお、特に断りがないかぎり、旧法の通算老齢年金（退職）には、特例老齢年金を含んでいる。

(新法の老齢厚生年金の) 老齢相当、通老相当・25年未満

この統計においては、新法の老齢厚生年金のうち、原則として、厚生年金保険の被保険者期間が20年以上（昭和27年4月1日以前生まれの者。昭和27年4月2日以降生まれの者は段階的に21年以上に引き上がり、昭和31年4月2日以降生まれの者は25年以上。中高齢特例に該当する場合は15年以上）の者で、旧法の老齢年金に相当するものを「老齢相当」に、新法の老齢厚生年金のうち「老齢相当」以外のものを「通老相当・25年未満」として計上している。

なお、旧共済組合の新法の退職共済年金も同様に、旧法の退職年金に相当するものを「退年相当」、「退年相当」以外のものを「通退相当・25年未満」に計上している。

(新法基礎年金の) 25年以上、25年未満

この統計においては、老齢基礎年金のうち、原則として、老齢基礎年金の受給資格期間を25年以上有するものを「25年以上」に、老齢基礎年金のうち、「25年以上」以外のものを「25年未満」として計上している。

なお、平成29年8月に、年金を受給するための受給資格期間が25年から10年に短縮されたが、平成29年7月以前においても、老齢基礎年金の支給要件の特例により、老齢基礎年金の受給資格期間が25年未満であっても、老齢基礎年金を受給できる場合がある。その特例に該当するものについても「25年以上」に計上している。

(厚生年金保険計における) 老齢年金

この統計においては、旧法厚生年金保険の老齢年金、旧法船員保険の老齢年金、老齢厚生年金の老齢相当、旧共済組合旧法の退職年金、減額退職年金及び退職共済年金の退年相当の総計

をいう。

(国民年金計における) 老齢年金・25年以上

この統計においては、旧法国民年金の老齢年金及び基礎年金の25年以上の総計をいう。

(厚生年金保険計、国民年金計における) 通算老齢年金・25年未満

この統計においては、

- ① 旧法厚生年金保険の通算老齢年金、旧法船員保険の通算老齢年金、老齢厚生年金の通老相当・25年未満、旧共済組合旧法の通算退職年金及び退職共済年金の通退相当・25年未満の総計
- ② 旧法国民年金の通算老齢年金及び基礎年金の25年未満の総計

をいう。

基礎または定額あり・基礎及び定額なし

新法の老齢厚生年金のうち、老齢基礎年金併給者又は特別支給の老齢厚生年金の定額部分を受給している者を「基礎または定額あり」といい、老齢基礎年金及び特別支給の老齢厚生年金の定額部分を受給していない者を「基礎及び定額なし」という。

基礎のみ

新法基礎年金受給権者又は受給者のうち、同一の年金種別の厚生年金保険（第1号）（旧共済組合を除く）の受給権を有しない者をいう。

基礎のみ共済なし

新法基礎年金受給権者又は受給者のうち、同一の年金種別の厚生年金保険（第1号）（旧共済組合を除く）の受給権を有しない者で、さらに、共済組合等の組合員等たる厚生年金保険の被保険者期間（平成27年9月以前の共済組合等の組合員等の期間を含む）を有しない者をいう。

遺族年金の短期要件及び長期要件

遺族厚生年金の支給要件のうち、以下の①～③を「短期要件」という。また、④を「長期要件」という。

- ①死亡日に厚生年金保険の被保険者であった場合。
- ②厚生年金保険の被保険者であった間に初診日のあるけがや病気が原因で初診日から5年以内に死亡した場合。
- ③障害等級1級又は2級に該当する障害厚生年金の受給権者が死亡した場合。
- ④老齢厚生年金の受給権者又は老齢厚生年金の受給資格期間を満たしている者が死亡した場合

共済組合等

国家公務員共済組合、地方公務員共済組合及び日本私立学校振興・共済事業団をいう。

旧共済組合

平成9年4月1日から旧公共企業体の共済組合（旧日本鉄道共済組合、旧日本たばこ産業共済組合及び旧日本電信電話共済組合）の長期給付事業が厚生年金保険に統合され、平成14年4月1日から旧農林漁業団体職員共済組合が厚生年金に統合された。統合時点で受給権が発生していた者の年金も厚生年金から給付されており、これらの分を「旧共済組合」という。

その他

- 1 統計表の符号の用法は次のとおりである。

「・」は統計項目のあり得ないもの（制度的にないもの）

「－」は計数のないもの

「0」は四捨五入の結果1単位に満たない数となったもの

「…」は計数不明（未調査等）のもの

「△」は負数

- 2 単位未満の数は四捨五入しているため、内容の計と合計とは一致しないことがある。

年金生活者支援給付金の状況

年金生活者支援給付金の状況

(1) 年金生活者支援給付金件数及び給付金総額(令和3年3月)

(単位：件、百万円)

| | 件数 | 給付金総額 (月額) |
|-----------------|-----------|---------------|
| 総数 | 7,724,044 | 31,917 |
| 老齢年金生活者支援給付金 | 4,681,461 | 18,556 |
| 補足的老齢年金生活者支援給付金 | 961,935 | 2,028 |
| 障害年金生活者支援給付金 | 2,001,100 | 10,940 |
| 遺族年金生活者支援給付金 | 79,548 | 393 |

注. 令和3年3月において認定されている件数及び給付金総額(月額)である。

(2) 年金生活者支援給付金平均給付金額(月額)(令和3年3月)

(単位：円)

| | 平均給付金額 (月額) |
|-----------------|----------------|
| 老齢年金生活者支援給付金 | 3,964 |
| 補足的老齢年金生活者支援給付金 | 2,108 |
| 障害年金生活者支援給付金 | 5,467 |
| 遺族年金生活者支援給付金 | 4,942 |

注. 令和3年3月における平均給付金額(月額)である。

(3) 都道府県別 年金生活者支援給付金件数及び給付金総額（令和3年3月）

（単位：件、百万円）

| 都道府県 | 年金生活者支援給付金 | | | | | | | | | |
|------|------------|---------------|------------------|---------------|---------------------|---------------|------------------|---------------|------------------|---------------|
| | 総数 | | 老齢年金 生活者支援給付金 | | 補足の老齢年金 生活者支援給付金 | | 障害年金 生活者支援給付金 | | 遺族年金 生活者支援給付金 | |
| | 件数 | 給付金総額 (月額) | 件数 | 給付金総額 (月額) | 件数 | 給付金総額 (月額) | 件数 | 給付金総額 (月額) | 件数 | 給付金総額 (月額) |
| 全 国 | 7,724,044 | 31,917 | 4,681,461 | 18,556 | 961,935 | 2,028 | 2,001,100 | 10,940 | 79,548 | 393 |
| 北海道 | 474,554 | 1,919 | 301,221 | 1,176 | 59,364 | 125 | 110,539 | 601 | 3,430 | 17 |
| 青森県 | 123,365 | 562 | 79,949 | 368 | 13,673 | 29 | 28,749 | 160 | 994 | 5 |
| 岩手県 | 91,174 | 423 | 52,207 | 242 | 10,550 | 23 | 27,321 | 153 | 1,096 | 5 |
| 宮城県 | 131,574 | 565 | 78,329 | 324 | 14,883 | 31 | 36,652 | 201 | 1,710 | 8 |
| 秋田県 | 83,980 | 377 | 52,388 | 238 | 10,565 | 23 | 20,276 | 112 | 751 | 4 |
| 山形県 | 61,405 | 283 | 33,095 | 151 | 7,146 | 16 | 20,373 | 112 | 791 | 4 |
| 福島県 | 115,462 | 508 | 66,836 | 289 | 13,872 | 30 | 33,284 | 182 | 1,470 | 7 |
| 茨城県 | 159,227 | 672 | 99,623 | 404 | 17,618 | 37 | 40,047 | 221 | 1,939 | 10 |
| 栃木県 | 107,386 | 466 | 63,597 | 266 | 12,167 | 26 | 30,255 | 167 | 1,367 | 7 |
| 群馬県 | 114,423 | 491 | 66,629 | 276 | 15,358 | 33 | 31,086 | 175 | 1,350 | 7 |
| 埼玉県 | 356,803 | 1,394 | 222,636 | 812 | 42,176 | 86 | 87,575 | 474 | 4,416 | 22 |
| 千葉県 | 326,596 | 1,302 | 203,892 | 757 | 36,479 | 76 | 82,598 | 452 | 3,627 | 18 |
| 東京都 | 647,141 | 2,519 | 406,308 | 1,468 | 77,171 | 162 | 157,067 | 856 | 6,595 | 33 |
| 神奈川県 | 451,686 | 1,724 | 275,184 | 942 | 51,726 | 106 | 119,908 | 652 | 4,868 | 24 |
| 新潟県 | 127,650 | 562 | 68,908 | 295 | 15,722 | 34 | 41,376 | 225 | 1,644 | 8 |
| 富山県 | 50,194 | 216 | 24,857 | 102 | 7,379 | 17 | 17,242 | 94 | 716 | 4 |
| 石川県 | 60,729 | 258 | 31,321 | 127 | 8,607 | 19 | 20,024 | 109 | 777 | 4 |
| 福井県 | 33,449 | 148 | 15,670 | 65 | 4,298 | 9 | 12,926 | 70 | 555 | 3 |
| 山梨県 | 52,840 | 232 | 32,142 | 139 | 6,079 | 13 | 14,075 | 77 | 544 | 3 |
| 長野県 | 116,251 | 510 | 58,586 | 246 | 14,763 | 32 | 41,477 | 225 | 1,425 | 7 |
| 岐阜県 | 105,511 | 446 | 59,185 | 240 | 14,417 | 32 | 30,550 | 167 | 1,359 | 7 |
| 静岡県 | 185,080 | 784 | 100,894 | 409 | 24,411 | 52 | 57,431 | 312 | 2,344 | 12 |
| 愛知県 | 342,748 | 1,378 | 200,704 | 756 | 42,408 | 87 | 95,111 | 513 | 4,525 | 22 |
| 三重県 | 106,510 | 454 | 60,200 | 251 | 15,256 | 34 | 29,945 | 164 | 1,109 | 5 |
| 滋賀県 | 66,275 | 286 | 35,478 | 148 | 8,819 | 19 | 20,980 | 114 | 998 | 5 |
| 京都府 | 179,783 | 724 | 112,648 | 439 | 23,844 | 50 | 41,773 | 228 | 1,518 | 8 |
| 大阪府 | 617,946 | 2,381 | 401,966 | 1,464 | 75,240 | 150 | 135,455 | 741 | 5,285 | 26 |
| 兵庫県 | 361,896 | 1,418 | 233,224 | 870 | 45,900 | 96 | 79,366 | 435 | 3,406 | 17 |
| 奈良県 | 96,231 | 402 | 62,781 | 256 | 10,862 | 23 | 21,767 | 120 | 821 | 4 |
| 和歌山県 | 86,353 | 368 | 55,855 | 234 | 10,342 | 22 | 19,495 | 108 | 661 | 3 |
| 鳥取県 | 34,606 | 151 | 18,119 | 78 | 5,030 | 11 | 11,049 | 60 | 408 | 2 |
| 島根県 | 44,122 | 194 | 22,924 | 98 | 6,063 | 13 | 14,646 | 81 | 489 | 2 |
| 岡山県 | 112,884 | 476 | 61,573 | 254 | 18,044 | 39 | 32,117 | 177 | 1,150 | 6 |
| 広島県 | 169,796 | 682 | 97,867 | 377 | 25,445 | 55 | 44,743 | 242 | 1,741 | 9 |
| 山口県 | 102,383 | 421 | 61,134 | 247 | 16,417 | 37 | 23,962 | 134 | 870 | 4 |
| 徳島県 | 60,612 | 265 | 36,965 | 160 | 7,892 | 17 | 15,324 | 86 | 431 | 2 |
| 香川県 | 58,752 | 249 | 32,694 | 138 | 9,800 | 22 | 15,611 | 86 | 647 | 3 |
| 愛媛県 | 118,400 | 509 | 71,198 | 307 | 16,705 | 36 | 29,554 | 161 | 943 | 5 |
| 高知県 | 67,431 | 294 | 42,454 | 188 | 9,111 | 20 | 15,385 | 84 | 481 | 2 |
| 福岡県 | 354,644 | 1,476 | 219,603 | 887 | 42,959 | 88 | 88,743 | 485 | 3,339 | 16 |
| 佐賀県 | 49,803 | 223 | 26,565 | 117 | 6,259 | 14 | 16,352 | 89 | 627 | 3 |
| 長崎県 | 117,832 | 515 | 74,258 | 322 | 13,847 | 29 | 28,775 | 159 | 952 | 5 |
| 熊本県 | 138,544 | 613 | 80,279 | 353 | 17,584 | 38 | 39,480 | 217 | 1,201 | 6 |
| 大分県 | 96,493 | 407 | 60,525 | 252 | 12,251 | 25 | 22,993 | 126 | 724 | 4 |
| 宮崎県 | 97,395 | 420 | 57,816 | 250 | 13,743 | 29 | 24,981 | 137 | 855 | 4 |
| 鹿児島県 | 154,031 | 682 | 92,785 | 418 | 21,630 | 48 | 38,308 | 210 | 1,308 | 6 |
| 沖縄県 | 112,035 | 565 | 68,356 | 355 | 8,055 | 16 | 34,342 | 187 | 1,282 | 6 |
| その他 | 59 | 0 | 33 | 0 | 5 | 0 | 12 | 0 | 9 | 0 |

注. 令和3年3月において認定されている件数及び給付金総額（月額）である。

(4) 年齢別 年金生活者支援給付金件数及び平均給付金額 (月額)

老齢年金生活者支援給付金 (令和3年3月)

(単位：件、円)

| 年齢 | 件数 | 平均給付金額 (月額) |
|--------|-----------|----------------|
| 総数 | 4,681,461 | 3,964 |
| 70歳未満 | 521,717 | 4,443 |
| 70～74歳 | 782,260 | 3,995 |
| 75～79歳 | 833,265 | 3,785 |
| 80～84歳 | 896,013 | 3,873 |
| 85～89歳 | 827,091 | 3,870 |
| 90歳以上 | 821,115 | 4,005 |

注. 令和3年3月において認定されている件数及び平均給付金額 (月額) である。

補足的な老齢年金生活者支援給付金 (令和3年3月)

(単位：件、円)

| 年齢 | 件数 | 平均給付金額 (月額) |
|--------|---------|----------------|
| 総数 | 961,935 | 2,108 |
| 70歳未満 | 103,334 | 1,979 |
| 70～74歳 | 241,164 | 1,965 |
| 75～79歳 | 203,405 | 2,006 |
| 80～84歳 | 178,599 | 2,125 |
| 85～89歳 | 146,287 | 2,276 |
| 90歳以上 | 89,146 | 2,567 |

注. 令和3年3月において認定されている件数及び平均給付金額 (月額) である。

障害年金生活者支援給付金（令和3年3月）

（単位：件、円）

| 年 齢 | 件数 | 平均給付金額 （月額） |
|--------|-----------|----------------|
| 総 数 | 2,001,100 | 5,467 |
| 30歳未満 | 227,326 | 5,457 |
| 30～39歳 | 273,661 | 5,408 |
| 40～49歳 | 376,941 | 5,388 |
| 50～59歳 | 391,163 | 5,399 |
| 60～69歳 | 368,291 | 5,493 |
| 70～79歳 | 261,626 | 5,609 |
| 80歳以上 | 102,092 | 5,744 |

注. 令和3年3月において認定されている件数及び平均給付金額（月額）である。

遺族年金生活者支援給付金（令和3年3月）

（単位：件、円）

| 年 齢 | 件数 | 平均給付金額 （月額） |
|--------|--------|----------------|
| 総 数 | 79,548 | 4,942 |
| 20歳未満 | 6,548 | 3,964 |
| 20～29歳 | 644 | 5,030 |
| 30～39歳 | 8,952 | 5,030 |
| 40～49歳 | 38,346 | 5,030 |
| 50～59歳 | 23,802 | 5,030 |
| 60歳以上 | 1,256 | 5,030 |

注. 令和3年3月において認定されている件数及び平均給付金額（月額）である。

(5) 男女別給付金額階級別 年金生活者支援給付金件数

老齢年金生活者支援給付金(令和3年3月)

(単位：件)

| 給付金額 (月額) | 総数 | | |
|--------------|------------|------------|------------|
| | | 男子 | 女子 |
| 総数 | 4,681,461 | 732,805 | 3,948,656 |
| 千円以上 千円未満 | | | |
| ～ 1 | 101,867 | 11,138 | 90,729 |
| 1 ～ 2 | 370,332 | 61,135 | 309,197 |
| 2 ～ 3 | 700,034 | 68,314 | 631,720 |
| 3 ～ 4 | 1,131,452 | 130,776 | 1,000,676 |
| 4 ～ 5 | 1,051,150 | 192,485 | 858,665 |
| 5 ～ 6 | 1,039,511 | 195,172 | 844,339 |
| 6 ～ 7 | 152,578 | 38,347 | 114,231 |
| 7 ～ 8 | 74,670 | 19,797 | 54,873 |
| 8 ～ 9 | 35,867 | 9,636 | 26,231 |
| 9 ～ 10 | 15,677 | 4,132 | 11,545 |
| 10 ～ | 8,323 | 1,873 | 6,450 |
| 平均給付金額(月額) | 円 3,964 | 円 4,304 | 円 3,901 |

注. 令和3年3月において認定されている件数及び平均給付金額(月額)である。

補足的老齢年金生活者支援給付金(令和3年3月)

(単位：件)

| 給付金額 (月額) | 総数 | | |
|--------------|------------|------------|------------|
| | | 男子 | 女子 |
| 総数 | 961,935 | 173,203 | 788,732 |
| 千円以上 千円未満 | | | |
| ～ 1 | 234,078 | 47,846 | 186,232 |
| 1 ～ 2 | 240,497 | 47,120 | 193,377 |
| 2 ～ 3 | 227,707 | 36,930 | 190,777 |
| 3 ～ 4 | 173,775 | 25,744 | 148,031 |
| 4 ～ | 85,878 | 15,563 | 70,315 |
| 平均給付金額(月額) | 円 2,108 | 円 1,987 | 円 2,135 |

注. 令和3年3月において認定されている件数及び平均給付金額(月額)である。

障害年金生活者支援給付金(令和3年3月)

(単位：件)

| 給付金額 (月額) | 件 数 |
|----------------|------------|
| 総 数 | 2,001,100 |
| 千円以上 千円未満 | |
| 5 ~ 6 | 1,306,127 |
| 6 ~ 7 | 694,973 |
| 平均給付金額 (月額) | 円 5,467 |

注. 令和3年3月において認定されている件数及び平均給付金額(月額)である。

遺族年金生活者支援給付金(令和3年3月)

(単位：件)

| 給付金額 (月額) | 件 数 |
|----------------|------------|
| 総 数 | 79,548 |
| 千円以上 千円未満 | |
| ~ 1 | 18 |
| 1 ~ 2 | 677 |
| 2 ~ 3 | 1,822 |
| 3 ~ 4 | — |
| 4 ~ 5 | — |
| 5 ~ | 77,031 |
| 平均給付金額 (月額) | 円 4,942 |

注. 令和3年3月において認定されている件数及び平均給付金額(月額)である。